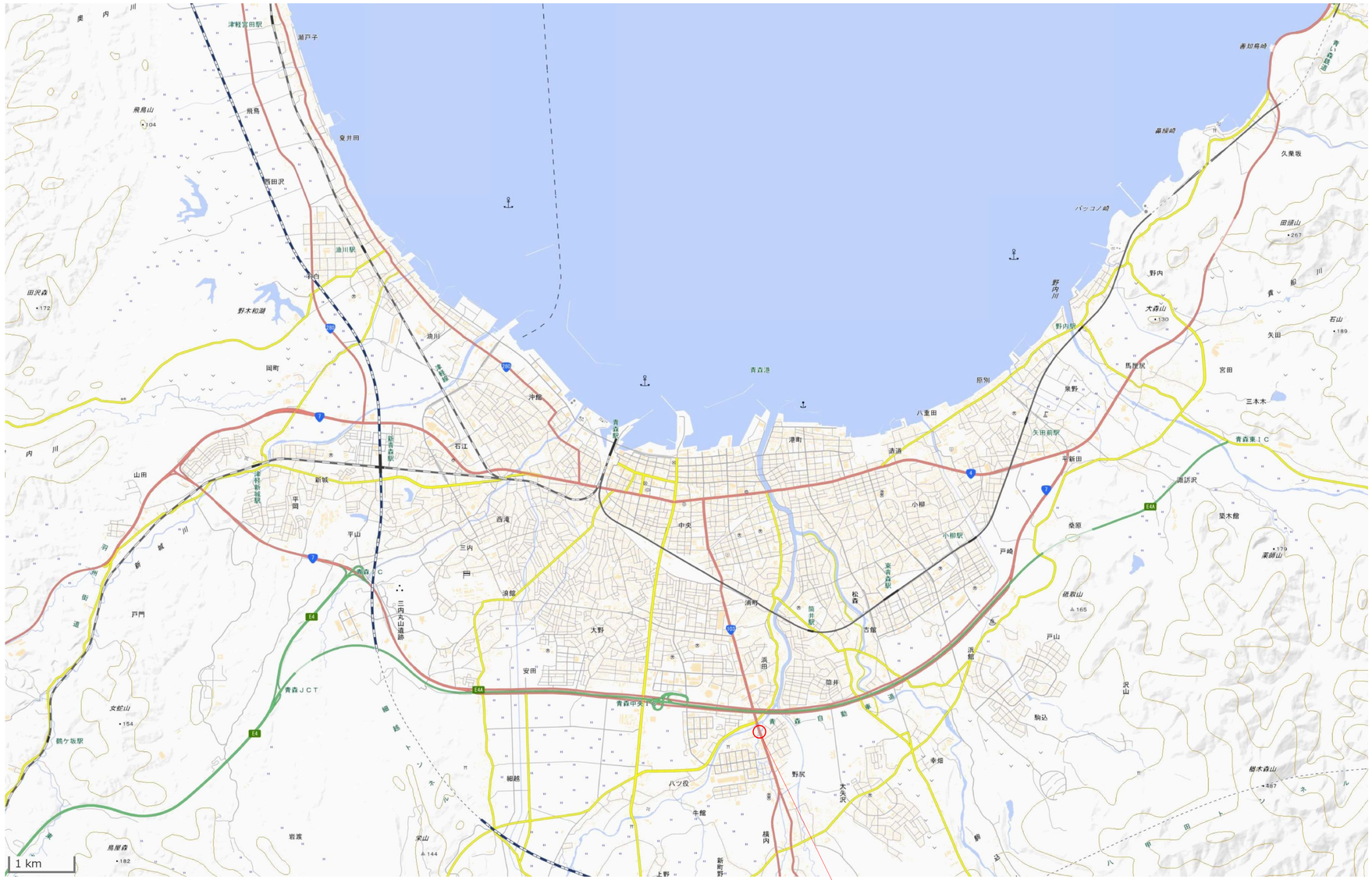
令和 8 年度　橋梁補修(妙見橋)工事	
工事番号	承メンテ　第474号
路線河川名	国道103号
施行箇所	青森市大字妙見　　地内
補修一般図(その１)	縮尺　　図示
図面番号	19　　葉中　　1
東青県土整備事務所	
青　森　県	



工事箇所
妙見橋

令和 8 年度　橋梁補修(妙見橋)工事	
工事番号	承メンテ　第474号
路線河川名	国道103号
施行箇所	青森市大字妙見　地内
補修一般図(その１)	縮尺　図示
図面番号	19　葉中　2
東青県土整備事務所	
青　森　県	

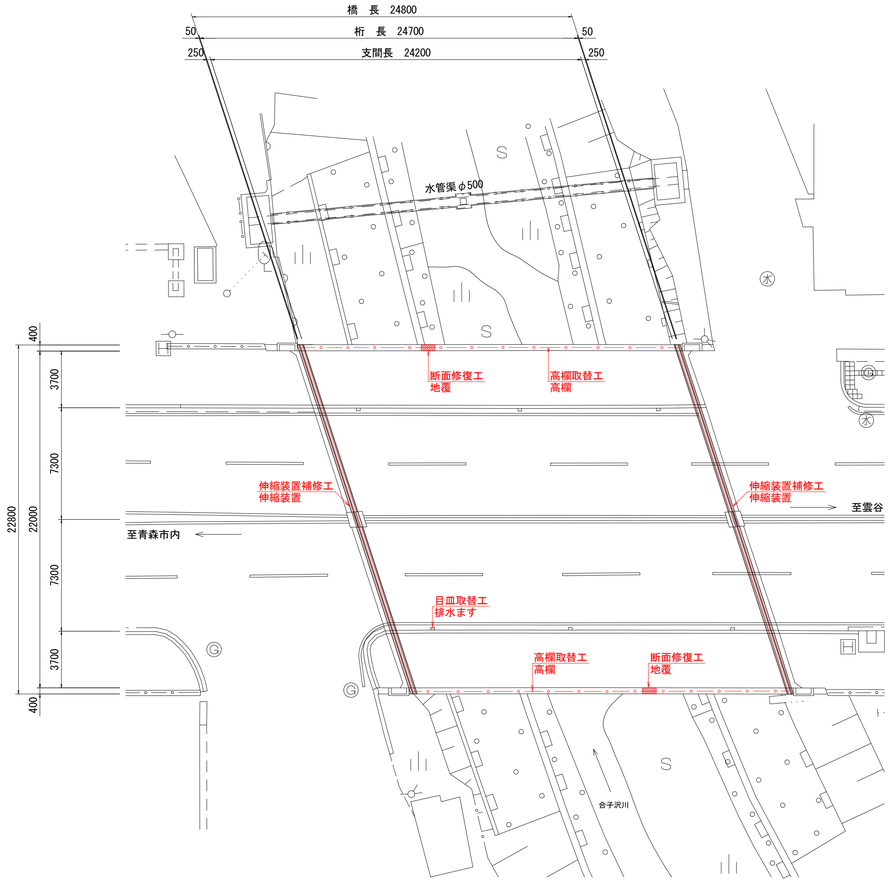
補修一般図（その１）

補修仕様

工　種	箇　所	工　法	仕　様
橋梁補修工	主桁	塗装塗替工	2種ケレン
	下横構	塗装塗替工	2種ケレン
	対傾構	塗装塗替工	2種ケレン
		ボルト取替工	六角　F10T　M20×55mm
		当て板補修工	SM400A、トルシアS10T M20×55mm
	床版	断面修復工	ポリマーセメントモルタル、鉄筋防錆剤
	下部工	断面修復工	ポリマーセメントモルタル、鉄筋防錆剤
		表面処理工	下地処理、シラン系表面含浸材
	支承	支承防錆工	支承金属溶射ブラスト工法
	沓座モルタル	沓座補修工	無収縮モルタル工
	伸縮装置	伸縮装置補修工	伸縮目地用乾式止水材
	高欄	高欄取替工	B種、アルミニウム合金製
	地覆	断面修復工	ポリマーセメントモルタル、鉄筋防錆剤
		地覆復旧工	無収縮モルタル工
	排水桝	排水桝蓋取替工	SUS
	護岸	護岸充填工	発泡ウレタン(Tn-p工法)

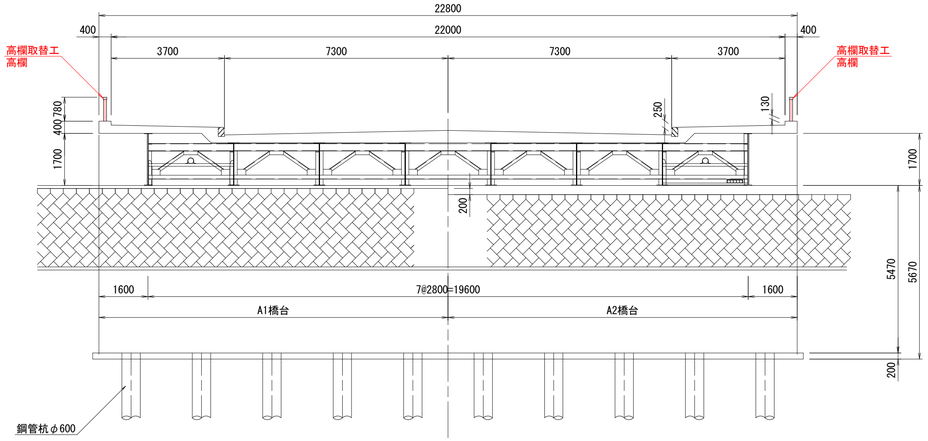
平　面　図

S=1:200
S=1:400(A3)



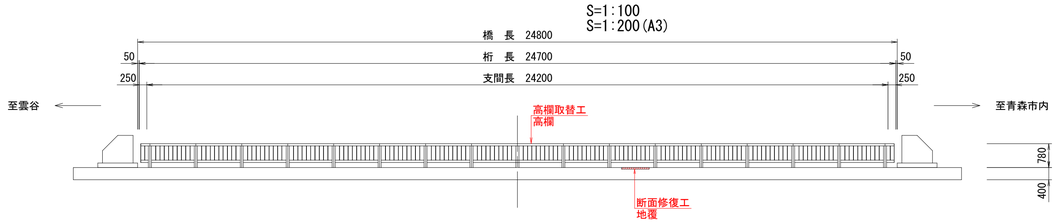
断　面　図

S=1:100
S=1:200(A3)



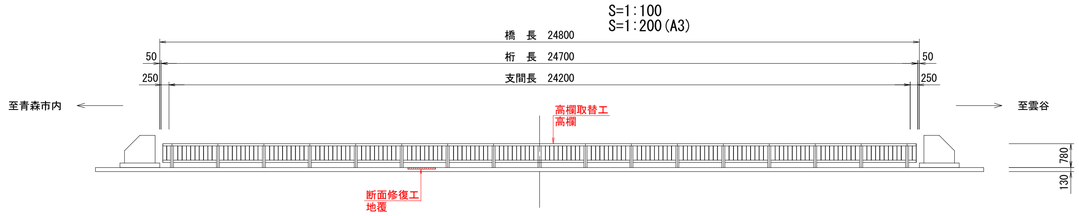
下流側側面図（外側）

S=1:100
S=1:200(A3)



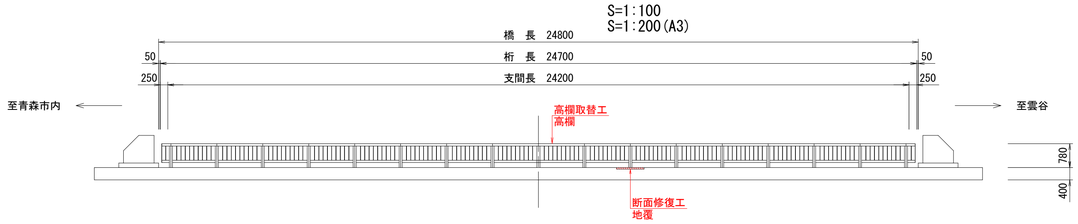
下流側側面図（内側）

S=1:100
S=1:200(A3)



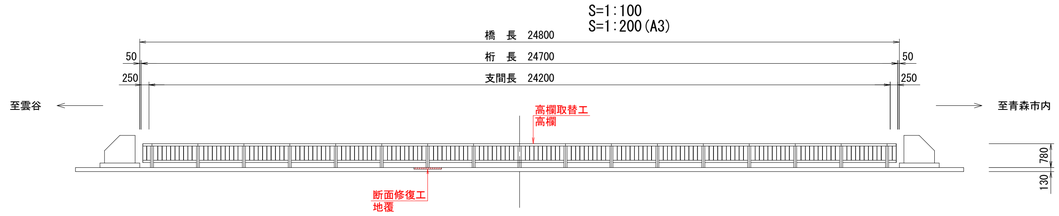
上流側側面図（外側）

S=1:100
S=1:200(A3)



上流側側面図（内側）

S=1:100
S=1:200(A3)



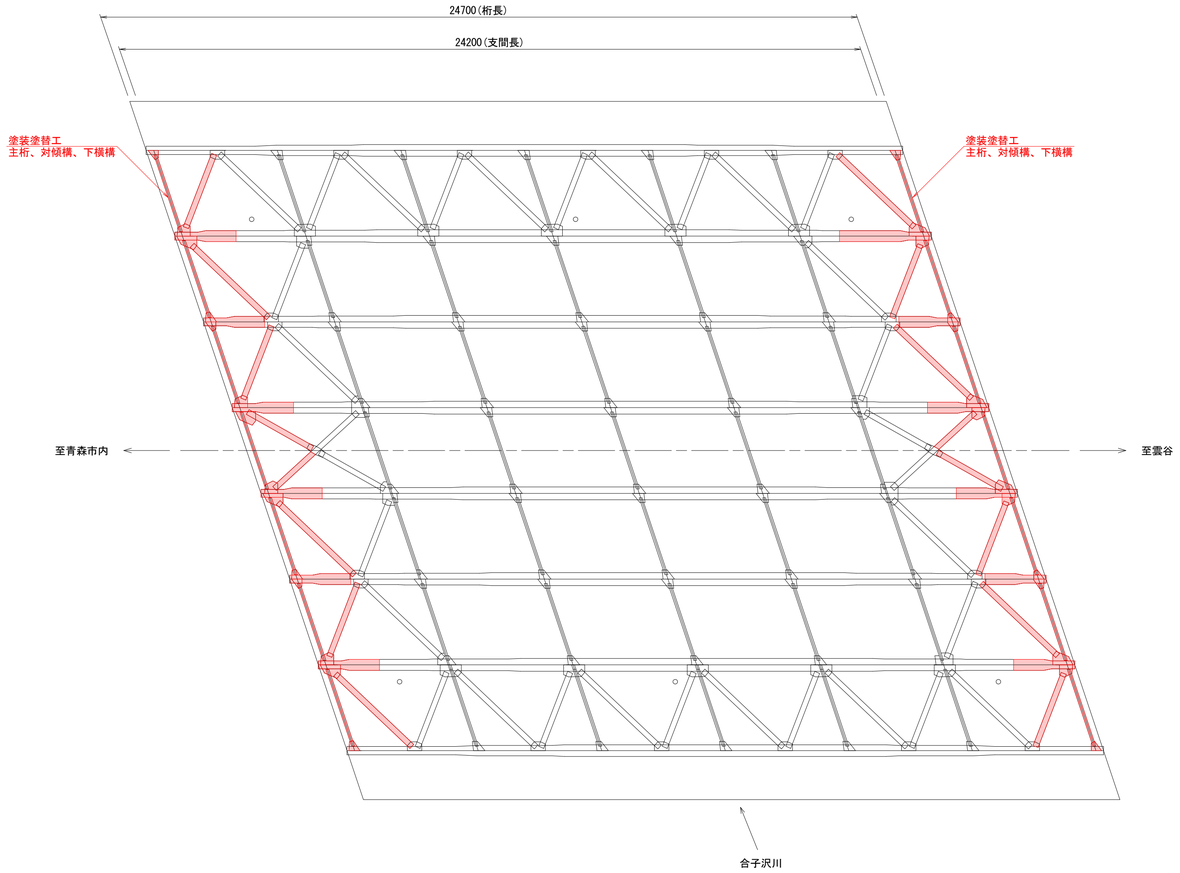
令和 8 年度　橋梁補修(妙見橋)工事	
工事番号	承メンテ　第474号
路線河川名	国道103号
施行箇所	青森市大字妙見　地内
補修一般図(その２)	縮尺　1:100 1:200(A3)
図面番号	19　葉中　3
東青県土整備事務所	
青　森　県	

補修一般図（その２）

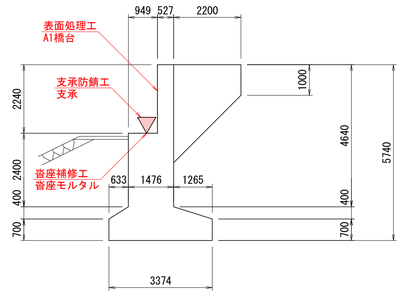
補修仕様

工　種	箇　所	工　法	仕　様
橋梁補修工	主桁	塗装塗替工	2種ケレン
	下横構	塗装塗替工	2種ケレン
	対傾構	塗装塗替工	2種ケレン
		ボルト取替工	六角　F10T　M20×55mm
		当て板補修工	SM400A、トルシアS10T M20×55mm
	床版	断面修復工	ポリマーセメントモルタル、鉄筋防錆剤
	下部工	断面修復工	ポリマーセメントモルタル、鉄筋防錆剤
		表面処理工	下地処理、シラン系表面含浸材
	支承	支承防錆工	支承金属溶射ブラスト工法
	沓座モルタル	沓座補修工	無収縮モルタル工
	伸縮装置	伸縮装置補修工	伸縮目地用乾式止水材
	高欄	高欄取替工	B種、アルミニウム合金製
	地覆	断面修復工	ポリマーセメントモルタル、鉄筋防錆剤
		地覆復旧工	無収縮モルタル工
	排水桝	排水桝蓋取替工	SUS
	護岸	護岸充填工	発泡ウレタン(Tn-p工法)

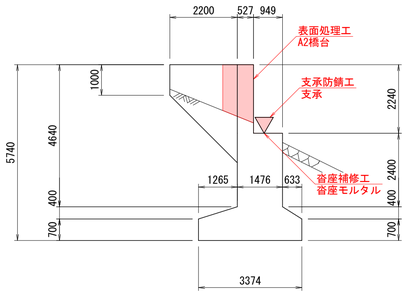
平　面　図



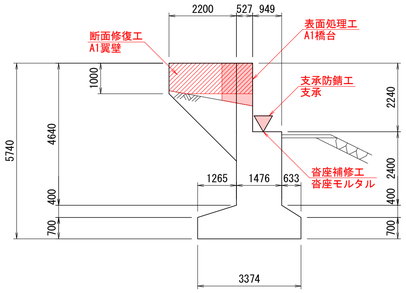
A1橋台側面図
下流側



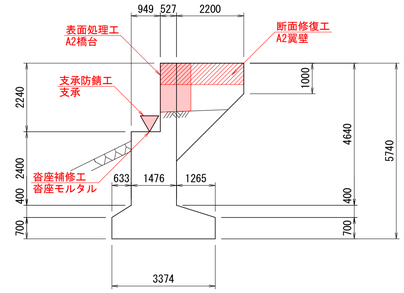
A2橋台側面図
下流側



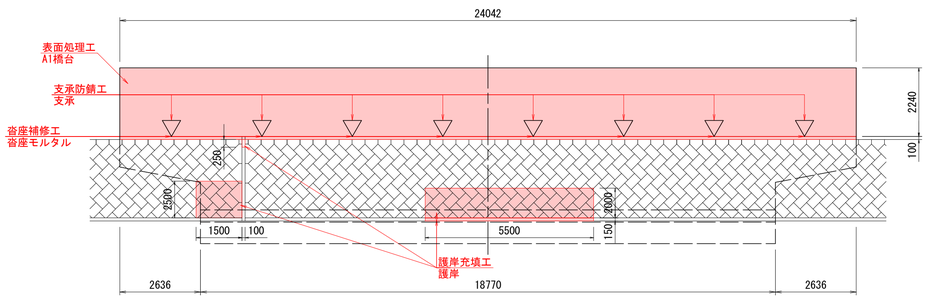
A1橋台側面図
上流側



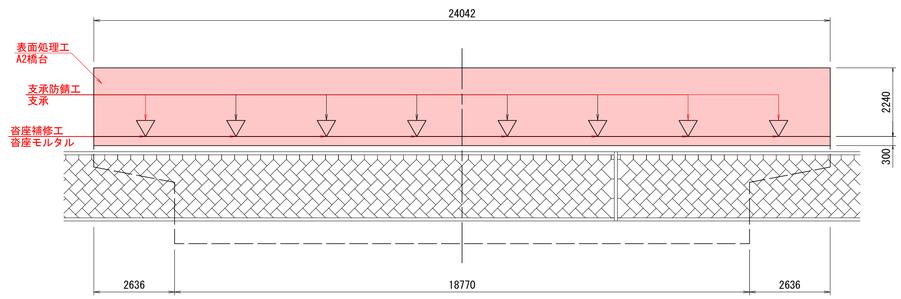
A2橋台側面図
上流側



A1橋台正面図



A2橋台正面図

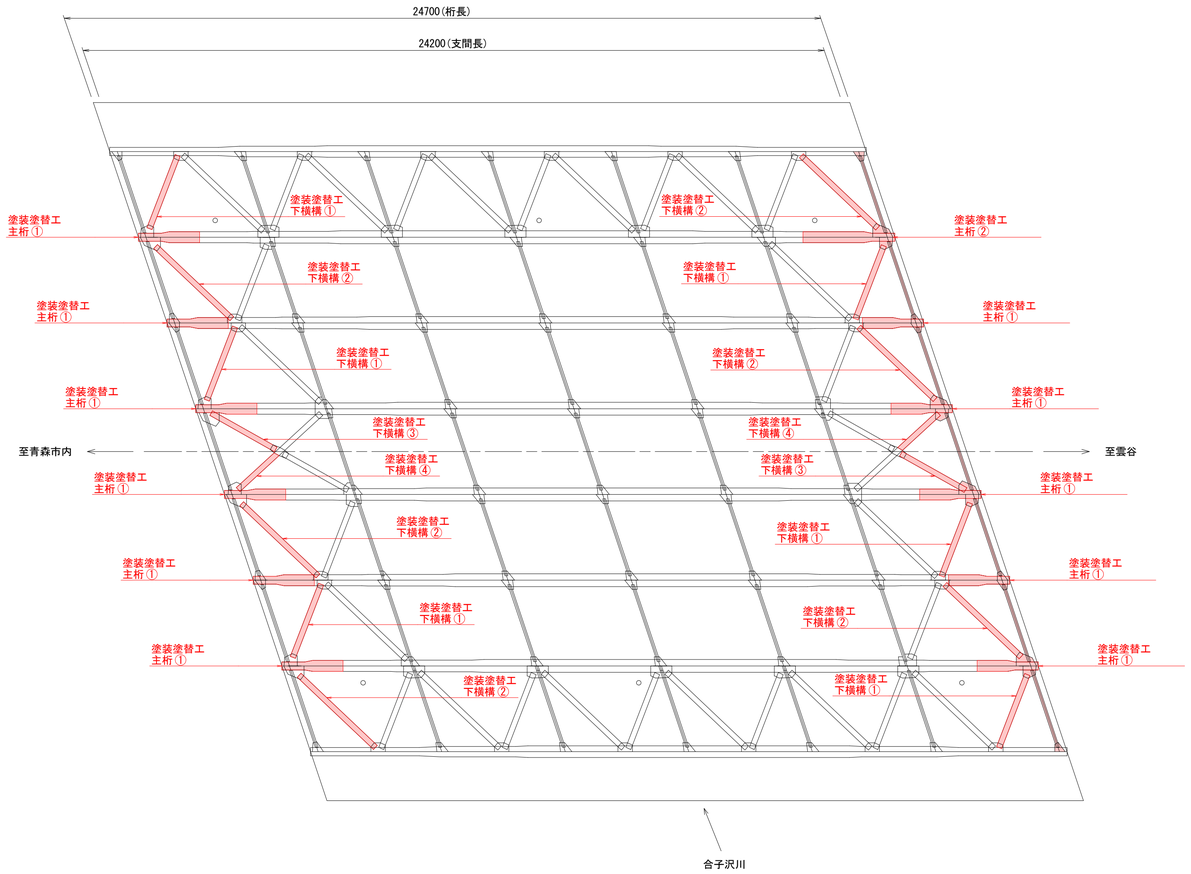


令和 8 年度　橋梁補修(妙見橋)工事	
工事番号	承メンテ　第474号
路線 河川　名	国道103号
施行 箇所	青森市大字妙見　　地内
塗装塗替工補修図 （その１）	縮尺　　図示
図面番号	19　　葉中　　4
東青県土整備事務所	
青　森　県	

塗装塗替工補修図（その１）

平　面　図

S=1:100
S=1:200(A3)



塗　装　仕　様

・塗装間隔の下限は20℃の場合を示す。温度が低い場合は、塗膜の乾燥状態を調べ、塗膜が硬化乾燥していることを確認してから塗料を塗り重ねること。
・素地調整によって生じた旧塗膜のケレンダストは、周辺の土壌や河川を汚染しないように足場にシート防護を施し、その廃棄物は適切に行う。
・素地調整により露出させた鋼材面は錆が発生しやすいため、素地調整終了後はできるだけ早く塗付作業を開始すること。

塗装工程	塗　料　名	
素地調整	2種ケレン	
下塗り	有機ジンクリッチペイント	SDジンク500　グレー系
下塗り	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料	エスコNBセーフティー　赤さび色
下塗り	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料	エスコNBセーフティー　グレー系
中塗り	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料	セラテクトマイルド中塗　19-20B
上塗り	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料	セラテクトFマイルド上塗　19-20B

塗装塗替工（主桁）

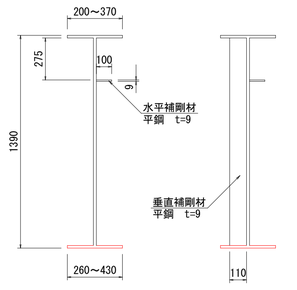
	算　式	数量（m2）
主桁①	{0.62m2(CAD計測)＋0.58m2(CAD計測) ＋(0.75m＋0.26m＋0.75m)×0.015m＋(0.265m＋0.99m)×2×0.017m}×11箇所	13.960
主桁②	{0.98m2(CAD計測)＋0.92m2(CAD計測) ＋(0.75m＋0.26m+0.75m)×0.015m+(0.265m+1.99m)×2×0.017m}×1箇所	2.003
	合　計	15.963

塗装塗替工（下横構）

	算　式	数量（m2）
下横構①	{(0.18m×0.013m＋0.008m×0.107m)×2＋(0.18m×2＋0.12m×2)×2.56m}×6箇所	9.254
下横構②	{(0.18m×0.013m＋0.008m×0.107m)×2＋(0.18m×2＋0.12m×2)×3.43m}×6箇所	12.386
下横構③	{(0.18m×0.013m＋0.008m×0.107m)×2＋(0.18m×2＋0.12m×2)×2.42m}×2箇所	2.917
下横構④	{0.18m×0.013m＋0.008m×0.107m＋(0.18m×2＋0.12m×2)×1.71m}×2箇所	2.058
	合　計	26.615

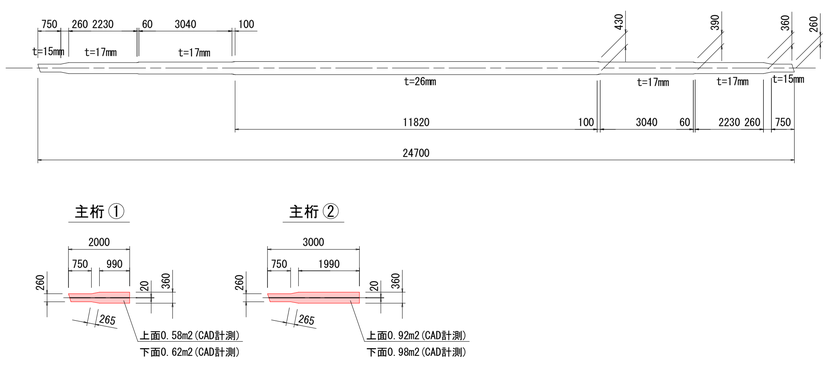
主桁(G2～G7)

S=1:20
S=1:40(A3)



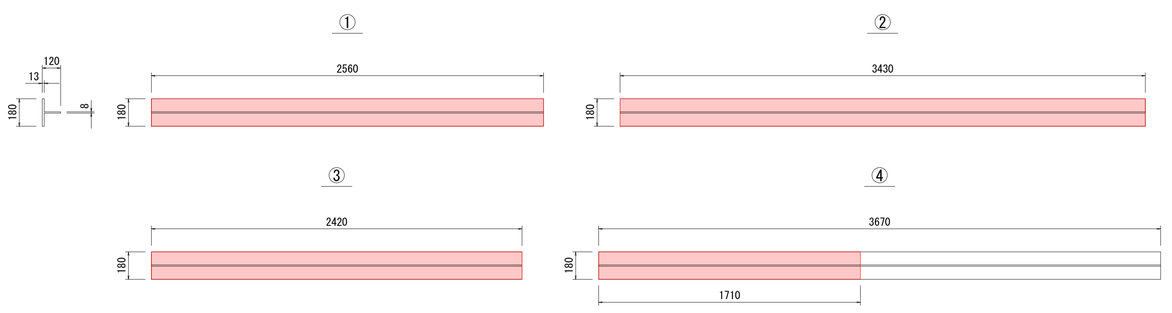
主桁(G2～G7)下フランジ平面図

S=1:100
S=1:200(A3)



端下横構

ＣＴ形鋼　S=1:20
S=1:40(A3)



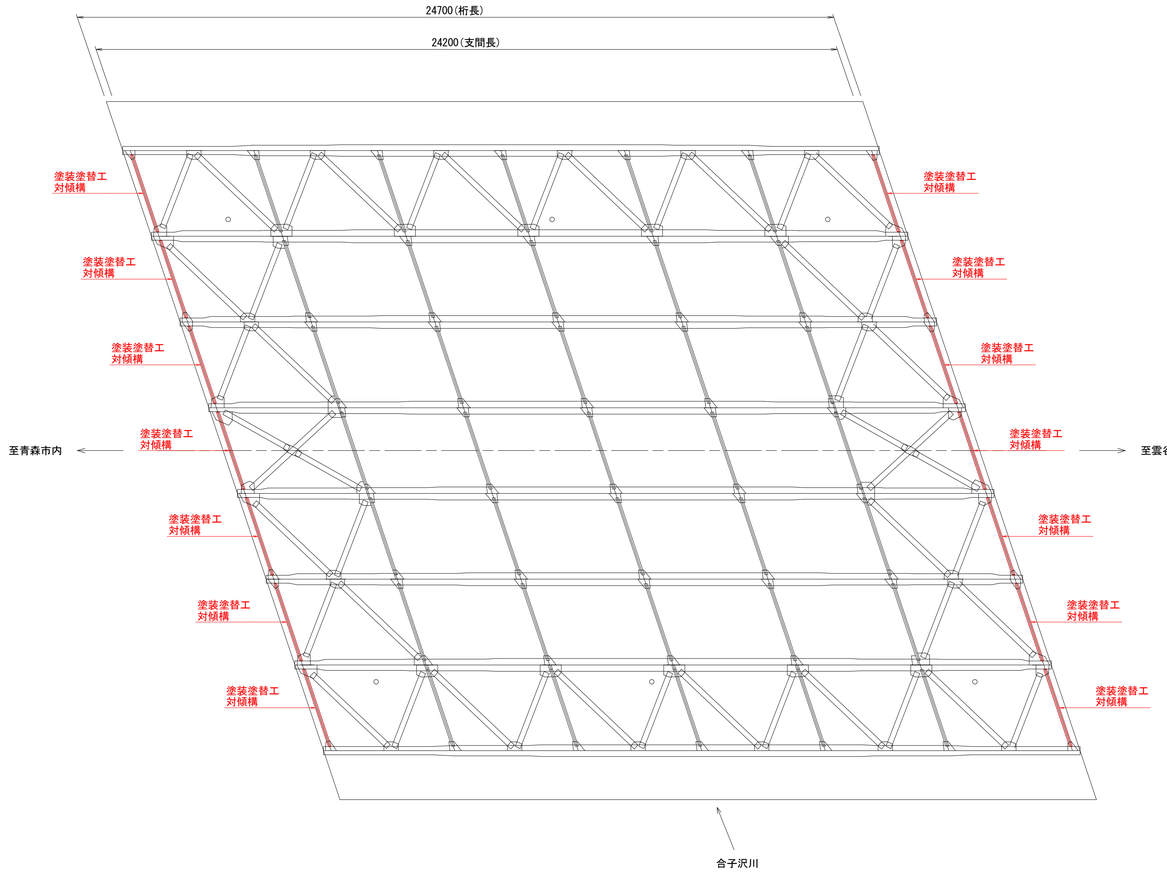
【特記事項】
1. 詳細寸法は現地検測のうえ決定すること。

令和 8 年度　橋梁補修(妙見橋)工事	
工事番号	承メンテ　第474号
路線 河川　名	国道103号
施行 箇所	青森市大字妙見　地内
塗装塗替工補修図 （その２）	縮尺　図示
図面番号	19　葉中　5
東青県土整備事務所	
青　森　県	

塗装塗替工補修図（その２）

平　面　図

S=1:100
S=1:200(A3)



塗　装　仕　様

・塗装間隔の下限は20℃の場合を示す。温度が低い場合は、塗膜の乾燥状態を調べ、塗膜が硬化乾燥していることを確認してから塗料を塗り重ねること。
・素地調整によって生じた旧塗膜のケレンダストは、周辺の土壌や河川を汚染しないように足場にシート防護を施し、その廃棄物は適切に行う。
・素地調整により露出させた鋼材面は錆が発生しやすいため、素地調整終了後はできるだけ早く塗付作業を開始すること。

塗装工程	塗　料　名	
素地調整	2種ケレン	
下塗り	有機ジンクリッチペイント	SDジンク500　グレー系
下塗り	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料	エスコNBセーフティー　赤さび色
下塗り	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料	エスコNBセーフティー　グレー系
中塗り	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料	セラテクトマイルド中塗　19-20B
上塗り	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料	セラテクトFマイルド上塗　19-20B

塗装塗替工（対傾構）

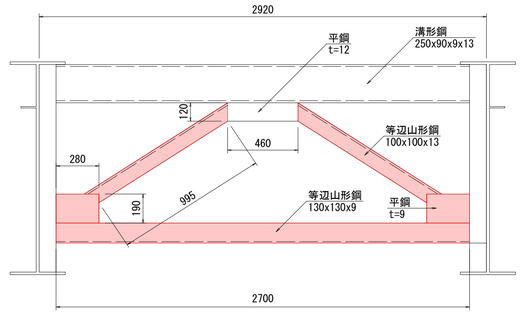
	算　式	数量（m2）
対傾構	[0.13m×4×2.7m＋(0.13m×0.009m＋0.121m×0.009m)×2	
	＋{0.10m×4×1.2m＋(0.10m×0.013m＋0.087m×0.013m)×2}×2	
	＋0.28m×0.19m×2＋(0.28m＋0.19m)×2×0.009m]×14箇所	34.903
	合　計	34.903

ボルト取替工（対傾構）

	仕様・規格	数量（本）
対傾構	六角 F10T M20×55mm	1
	合　計	1

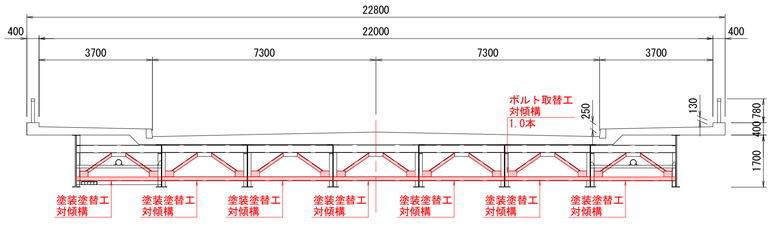
端対傾構

S=1:20
S=1:40(A3)



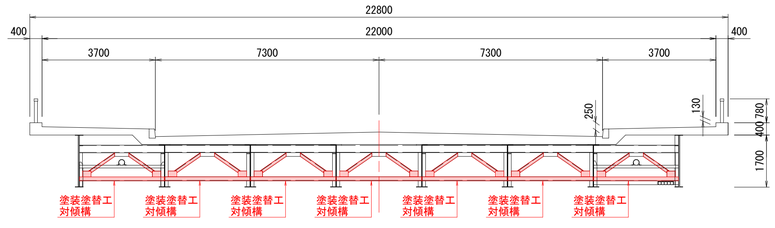
断面図（A1側）

端対傾構　S=1:100
S=1:200(A3)



断面図（A2側）

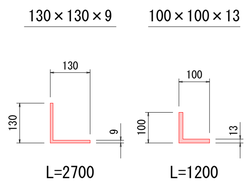
端対傾構　S=1:100
S=1:200(A3)



鋼材詳細図

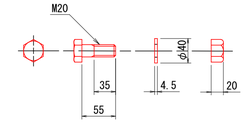
S=1:10
S=1:20(A3)

等辺山形鋼



ボルト詳細図

S=1:5
S=1:10(A3)



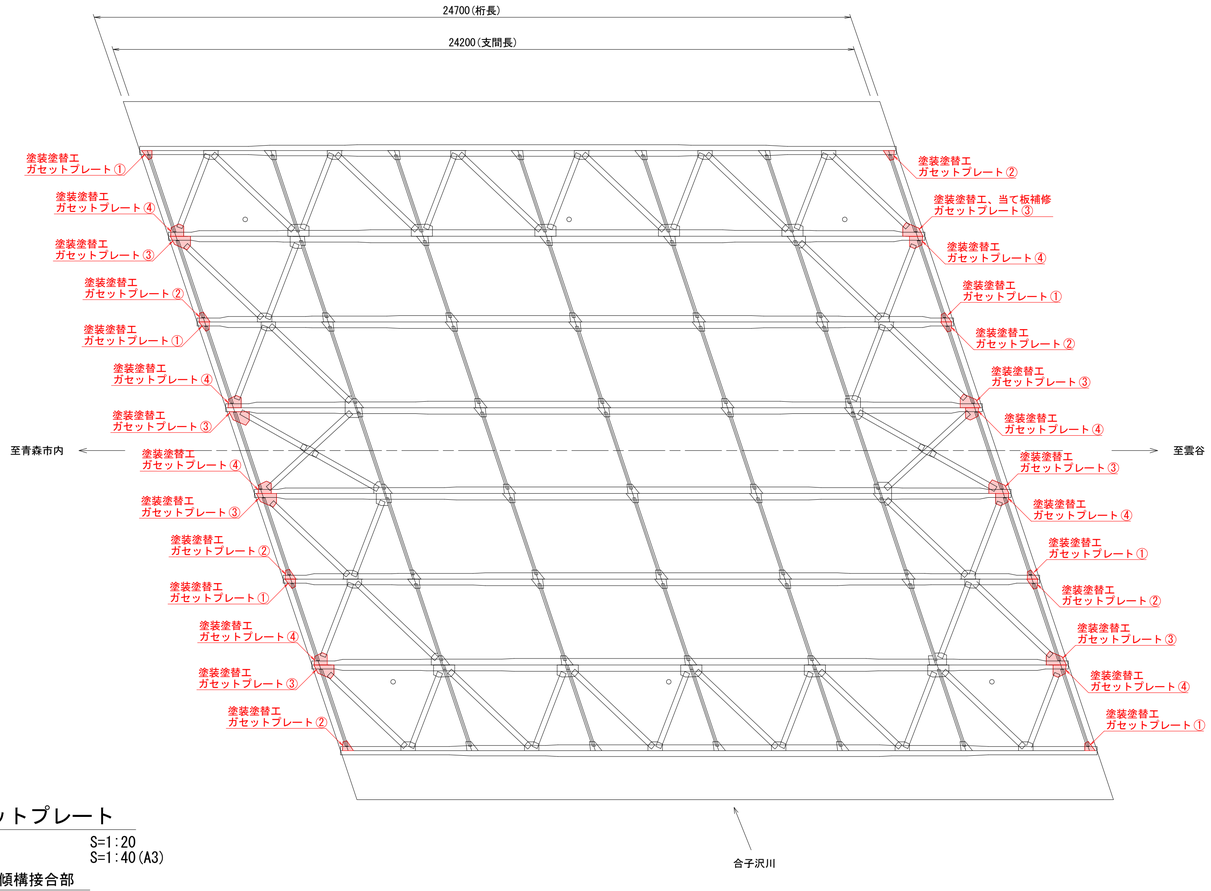
【特記事項】
1. 詳細寸法は現地検測のうえ決定すること。

令和 8 年度　橋梁補修(妙見橋)工事		
工事番号	承メンテ　第474号	
路線 河川　名	国道103号	
施行 箇所	青森市大字妙見　　地内	
塗装塗替工補修図 （その３）	縮尺	図示
図面番号	19　葉中　6	
東青県土整備事務所		
青　森　県		

塗装塗替工補修図（その３）

平　面　図

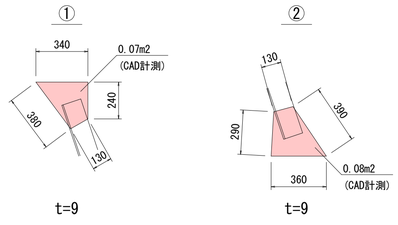
S=1:100
S=1:200(A3)



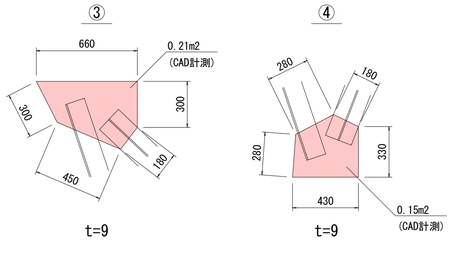
ガセットプレート

S=1:20
S=1:40(A3)

対傾構接合部

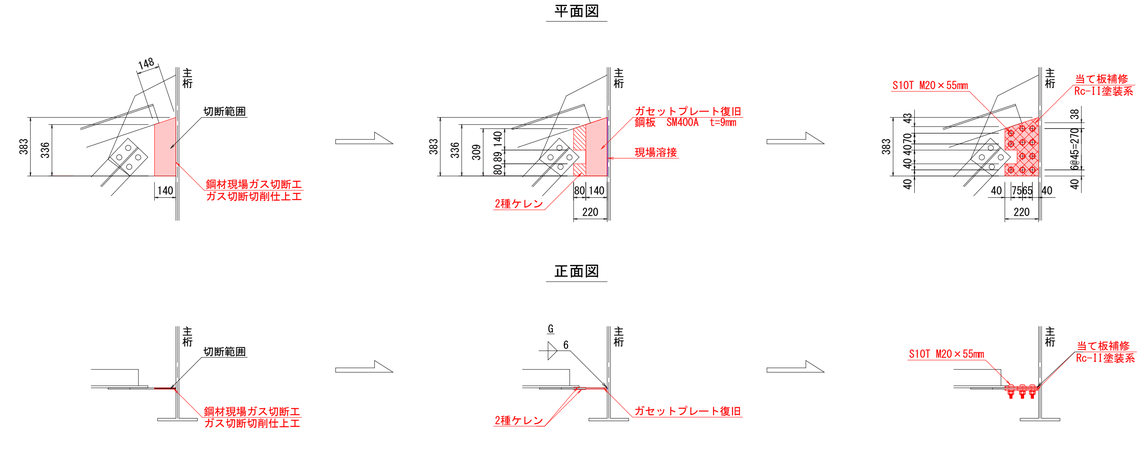


下横構1本対傾構1本接合部



当て板補修工手順図

S=1:20
S=1:40(A3)



塗　装　仕　様

・塗装間隔の下限は20℃の場合を示す。温度が低い場合は、塗膜の乾燥状態を調べ、塗膜が硬化乾燥していることを確認してから塗料を塗り重ねること。
・素地調整によって生じた旧塗膜のケレンダストは、周辺の土壌や河川を汚染しないように足場にシート防護を施し、その廃棄物は適切に行う。
・素地調整により露出させた鋼材面は錆が発生しやすいため、素地調整終了後はできるだけ早く塗付作業を開始すること。

塗装工程	塗　料　名	
素地調整	2種ケレン	
下塗り	有機ジンクリッチペイント	SDジンク500　グレー系
下塗り	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料	エスコNBセーフティー　赤さび色
下塗り	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料	エスコNBセーフティー　グレー系
中塗り	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料	セラテクトマイルド中塗　19-20B
上塗り	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料	セラテクトFマイルド上塗　19-20B

塗装塗替工（ガセットプレート）

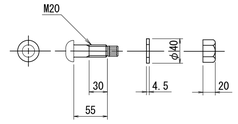
	算　式	数量（m2）
ガセットプレート①	{0.07m2(CAD計測)×2 ＋(0.38m＋0.34m＋0.24m＋0.13m)×0.009m}×6箇所	0.899
ガセットプレート②	{0.08m2(CAD計測)×2 ＋(0.29m＋0.13m＋0.39m＋0.36m)×0.009m}×6箇所	1.023
ガセットプレート③	{0.21m2(CAD計測)×2 ＋(0.30m＋0.66m＋0.30m＋0.18m＋0.45m)×0.009m}×8箇所	3.496
ガセットプレート④	{0.15m2(CAD計測)×2 ＋(0.28m＋0.28m＋0.18m＋0.33m＋0.43m)×0.009m}×8箇所	2.508
	合　計	7.926

当て板補修工（ガセットプレート）

名　称	算　式	数　量
ガス切断切削仕上工	0.336m＋0.148m＋0.383m	0.867m
ガセットプレート設置	(0.383m＋0.336m)×0.140m÷2	0.05m2
現場溶接	0.383m	0.383m
2種ケレン	{(0.336m＋0.309m)×0.080m÷2－0.089m×0.080m}×2面	0.04m2
当て板設置	{(0.383m＋0.309m)×0.220m÷2－0.089m×0.080m}×2枚	0.14m2
鋼桁孔明工	11本	11本
高力ボルト本締工	11本	11本
Rc-II塗装系	{(0.383m＋0.309m)×0.220m÷2－0.089m×0.080m}×2枚 （塗装塗替工にて計上）	0.14m2
ガセットプレート撤去	(0.383m＋0.336m)×0.140m÷2　(t＝9mm)　（撤去工にて計上）	0.05m2

ボルト詳細図

S=1:5
S=1:10(A3)



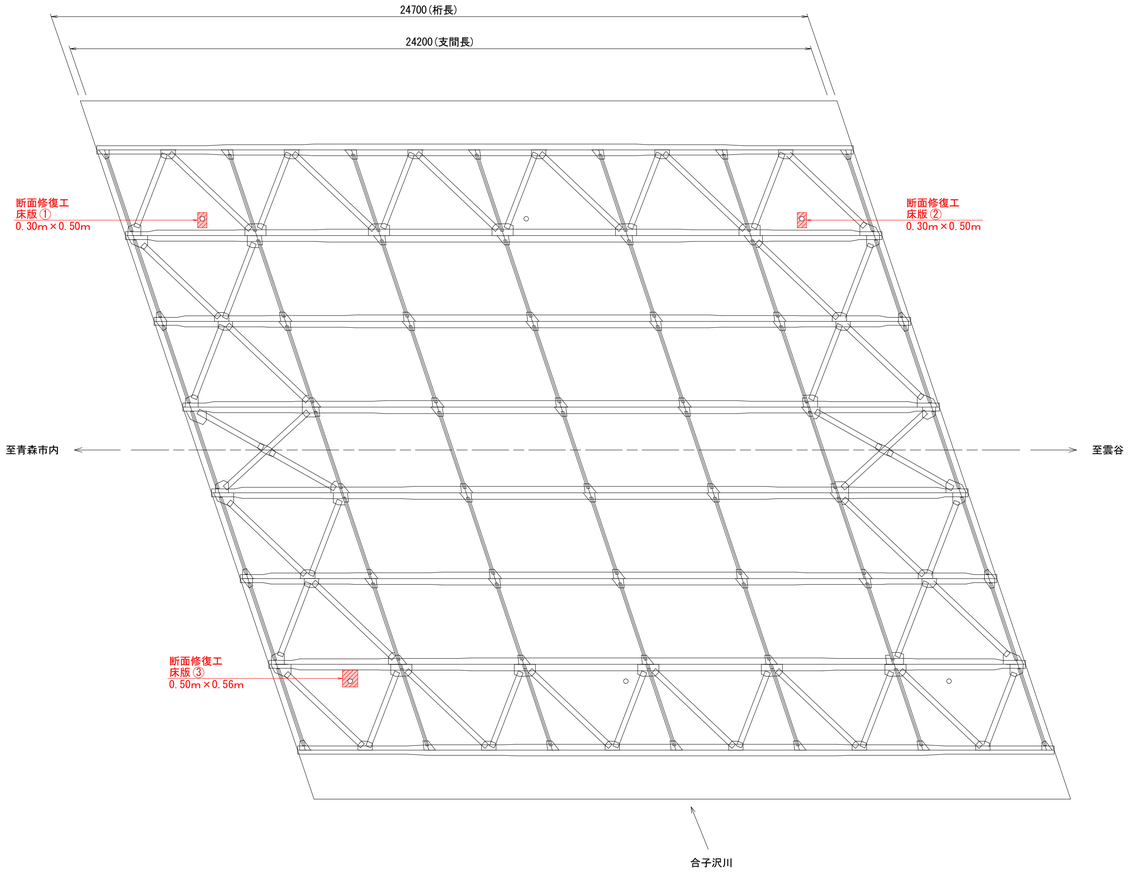
鋼材現場ガス切断工＝0.336m＋0.148m＋0.383m＝0.867m
ガス切断切削仕上工＝0.336m＋0.148m＋0.383m＝0.867m
ガセットプレート設置＝(0.383m＋0.336m)×0.140m÷2＝0.050m2
現場溶接＝0.383m
2種ケレン＝{(0.336m＋0.309m)×0.080m÷2－0.089m×0.080m}×2面＝0.037m2
当て板設置＝{(0.383m＋0.309m)×0.220m÷2－0.089m×0.080m}×2枚＝0.138m2
鋼桁孔明工＝11本
高力ボルト本締工＝11本
Rc-II塗装系＝{(0.383m＋0.309m)×0.220m÷2－0.089m×0.080m}×2枚＝0.138m2(塗装塗替工にて計上)
金属くず＝(0.383m＋0.336m)×0.140m÷2＝0.050m2(撤去工にて計上)

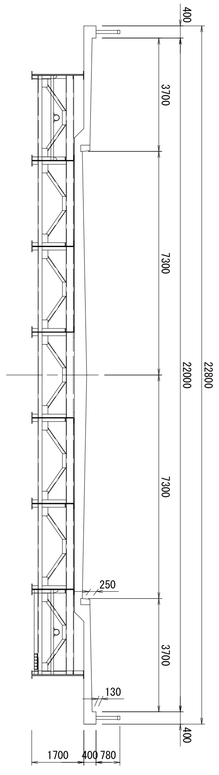
【特記事項】
1. 詳細寸法は現地検測のうえ決定すること。

令和 8 年度　橋梁補修(妙見橋)工事		
工事番号	承メンテ　第474号	
路線 河川　名	国道103号	
施行 箇所	青森市大字妙見　　地内	
床版補修図	縮尺	1:100 1:200(A3)
図面番号	19　葉中　7	
東青県土整備事務所		
青　森　県		

床版補修図

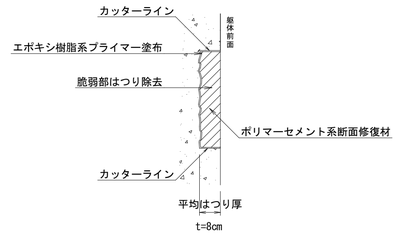
平　面　図





断面修復工詳細図

左官工法



断面修復工（左官工法）（ポリマーセメントモルタル）

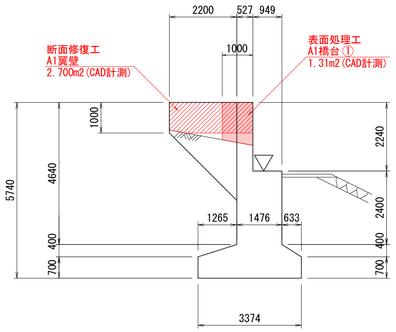
	寸　法	数量（m2）
床版①	0.30m×0.50m	0.15
床版②	0.30m×0.50m	0.15
床版③	0.50m×0.56m	0.28
	合　計	0.58

【特記事項】
1. 詳細寸法は現地検測のうえ決定すること。

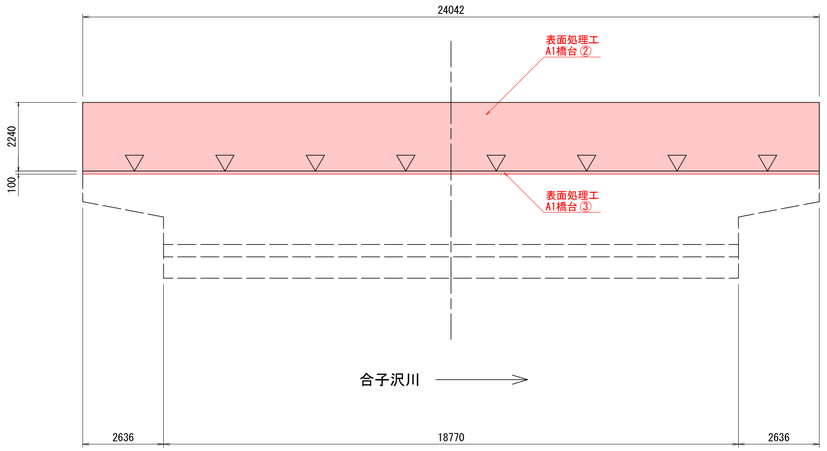
令和 8 年度　橋梁補修(妙見橋)工事		
工事番号	承メンテ　第474号	
路線 河川　名	国道103号	
施行 箇所	青森市大字妙見　地内	
下部工補修図 （その１）	縮尺	1:100 1:200(A3)
図面番号	19　葉中　8	
東青県土整備事務所		
青　森　県		

下部工補修図（その１）

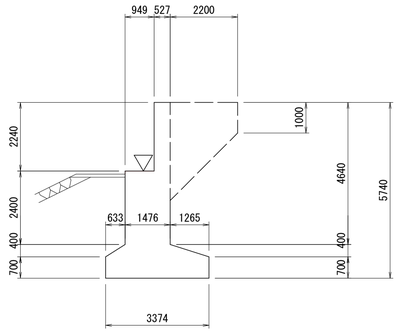
A1橋台側面図
上流側



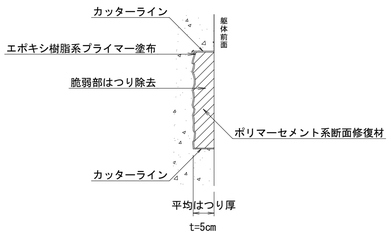
A1橋台正面図



A1橋台側面図
下流側



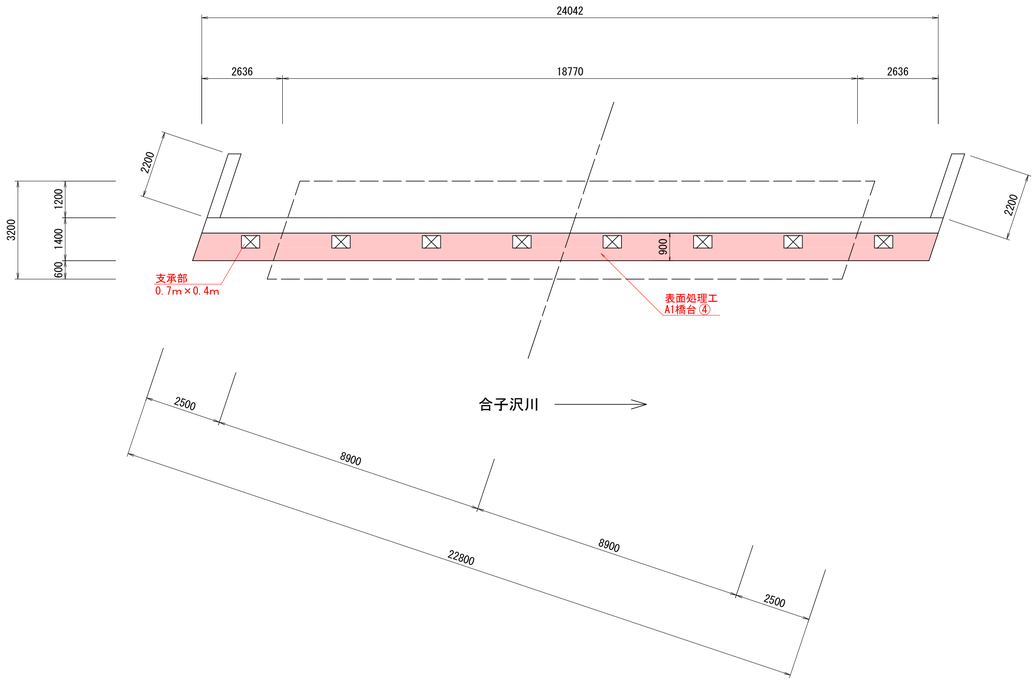
断面修復工詳細図
左官工法



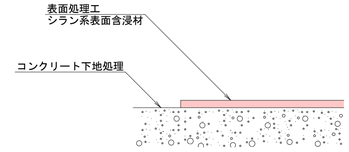
断面修復工（左官工法）（ポリマーセメントモルタル）

	寸　法	数量（m2）
A1翼壁	2.70m2(CAD計測)	2.70
合　計		2.70

A1橋台平面図



表面処理工詳細図



表面処理工

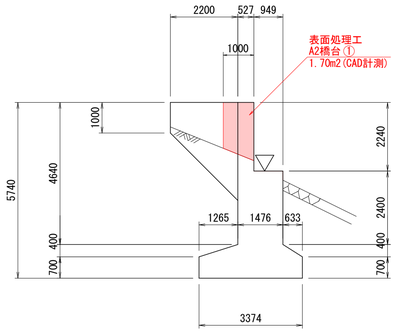
	寸　法	数量（m2）
A1橋台①	1.31m2(CAD計測)	1.31
A1橋台②	24.042m×2.240m	53.854
A1橋台③	24.042m×0.100m	2.404
A1橋台④	24.042m×0.900m-0.7m×0.4m×8箇所	19.398
合　計		76.966

【特記事項】
1. 詳細寸法は現地検測のうえ決定すること。

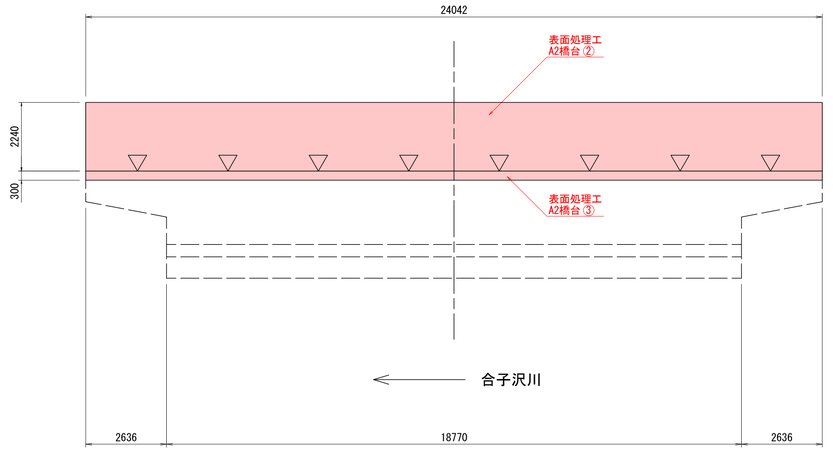
令和 8 年度　橋梁補修(妙見橋)工事		
工事番号	承メンテ　第474号	
路線河川名	国道103号	
施行箇所	青森市大字妙見　地内	
下部工補修図（その２）	縮尺	1:100 1:200(A3)
図面番号	19　葉中　9	
東青県土整備事務所		
青　森　県		

下部工補修図（その２）

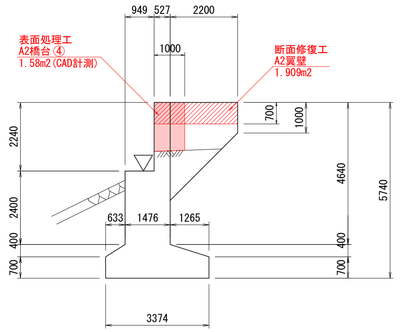
A2橋台側面図
下流側



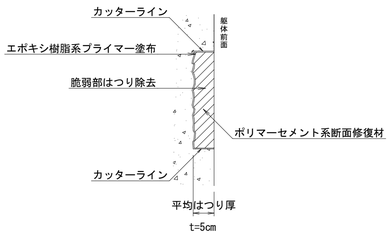
A2橋台正面図



A2橋台側面図
上流側



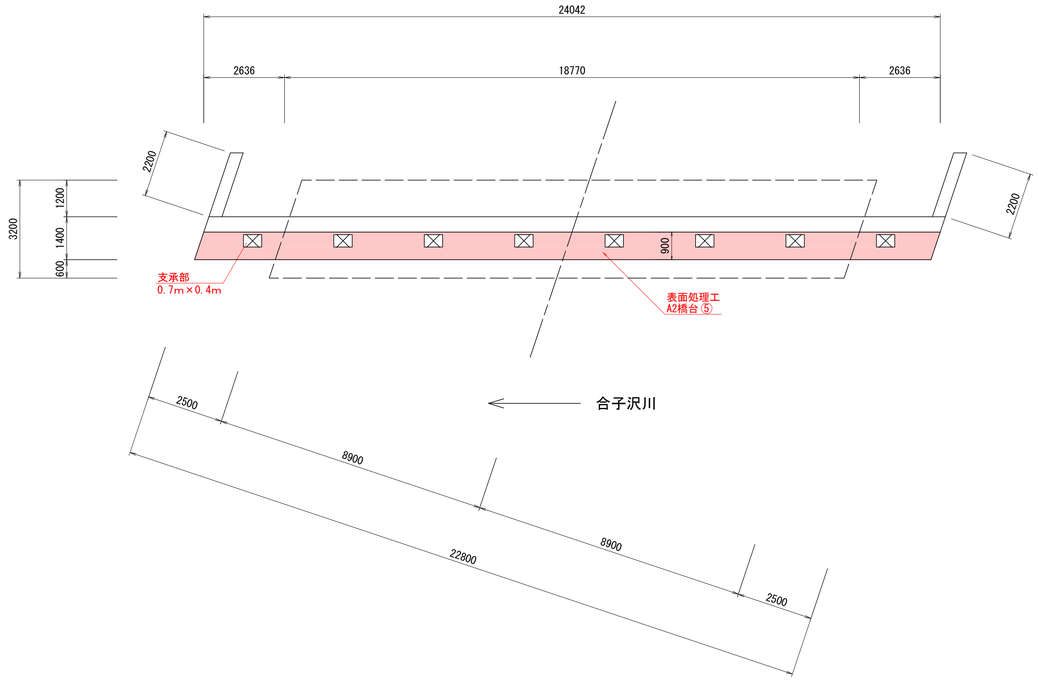
断面修復工詳細図
左官工法



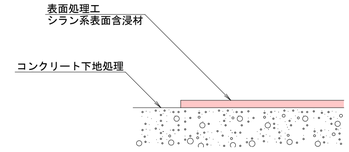
断面修復工（左官工法）（ポリマーセメントモルタル）

	寸　法	数量（m2）
A2翼壁	2.727m×0.700m	1.91
	合　計	1.91

A2橋台平面図



表面処理工詳細図



表面処理工

	寸　法	数量（m2）
A2橋台①	1.70m2(CAD計測)	1.70
A2橋台②	24.042m×2.240m	53.854
A2橋台③	24.042m×0.300m	7.213
A2橋台④	1.58m2(CAD計測)	1.580
A2橋台⑤	24.042m×0.900m-0.7m×0.4m×8箇所	19.398
	合　計	83.745

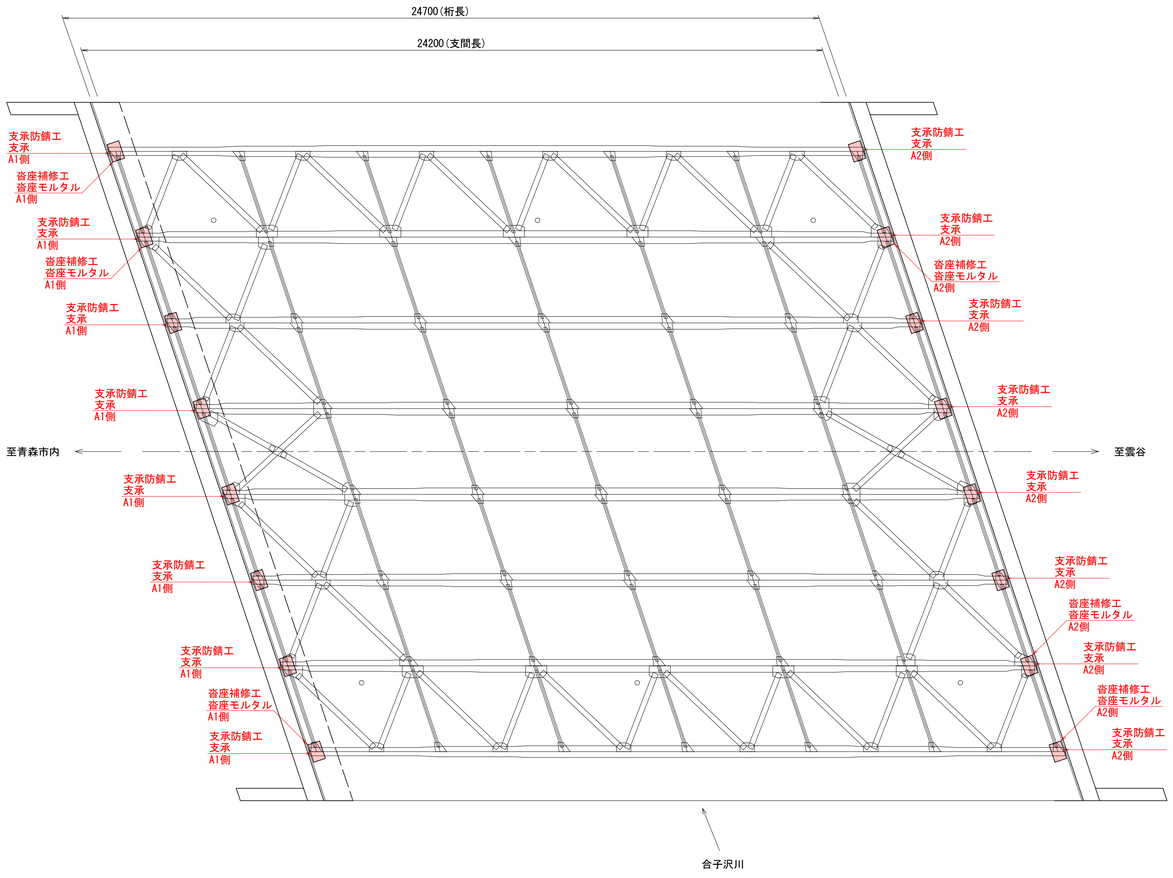
【特記事項】
1. 詳細寸法は現地検測のうえ決定すること。

令和 8 年度　橋梁補修(妙見橋)工事	
工事番号	承メンテ　第474号
路線河川名	国道103号
施行箇所	青森市大字妙見　　地内
支承部補修図	縮尺　　図示
図面番号	19　　葉中　　10
東青県土整備事務所	
青　森　県	

支承部補修図

平　面　図

S=1:100
S=1:200(A3)



支承防錆処理施工フロー

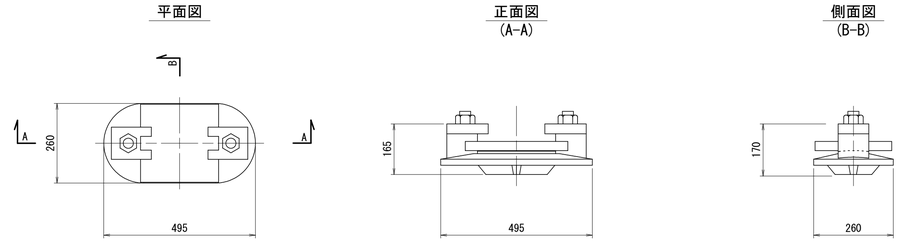
現　地　調　査
↓
沓座・支承部清掃
↓
潤滑性防錆剤注入
（二硫化モリブデン溶液）
↓
ブラスト処理
↓
金　属　溶　射
（最低皮膜厚　100μ）
↓
樹　脂　塗　装
封孔処理＋保護塗装
（エポキシ系浸透性保護材）
↓
後　片　付　け

支承防錆仕様

工　程	作業内容
潤滑材の注入	成分：炭化水素溶剤　90%　二酸化モリブデン（MoS2)10%
	(MoS2 純度　98.2%　粒子平均径　0.5μ
	膜強度：700N/mm2以上　色：　灰色　水分：0
	融和性：全ての石油ベースのオイル又はグリース
素地調整	ブラスト処理　　除せいグレード　　1/2以上
	表面粗さ　Rz50μm以上
金属溶射	亜鉛アルミニウム合金　最少皮膜厚さ　100μm以上
コーティング処理	エポキシ樹脂（グレー又はシルバー）
	乾燥時間　20時間以内

支承詳細図

S=1:10
S=1:20(A3)

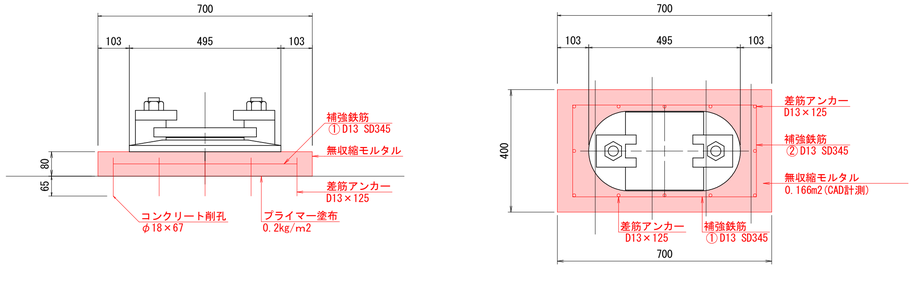


支承防錆工

	仕様・規格	数量（基）
A1側	支承金属溶射	8
A2側	〃	8
	合　計	16

沓座詳細図

S=1:10
S=1:20(A3)



鉄筋重量表

（1箇所当たり）

記　号	径	長　さ	本　数	単　位　重　量	1本当たり重量	重　量	摘　要
1	D13	600	2	0.995	0.597	1.194	
2	D13	300	2	0.995	0.299	0.598	
	合　計　D13 SD345					1.792	
	総重量					1.792	
	差筋アンカー　D13×125　12本						

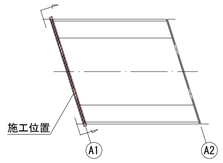
沓座補修工

	算　式	数量（m3）
A1側	0.166m2(CAD計測)×0.080m×3箇所	0.04
A2側	0.166m2(CAD計測)×0.080m×3箇所	0.04
	合　計	0.08

【特記事項】
1. 詳細寸法は現地検測のうえ決定すること。

令和 8 年度　橋梁補修(妙見橋)工事		
工事番号	承メンテ　第474号	
路線河川名	国道103号	
施行箇所	青森市大字妙見　　地内	
伸縮装置補修図（その１）	縮尺　　図示	
図面番号	19　　葉中　　11	
東青県土整備事務所		
青　森　県		

配 置 図



標準ウエブ遊間	+10℃時	95㎜
最大ウエブ遊間	-20℃時	95㎜
最小ウエブ遊間	+40℃時	95㎜

伸縮装置補修図（その１）

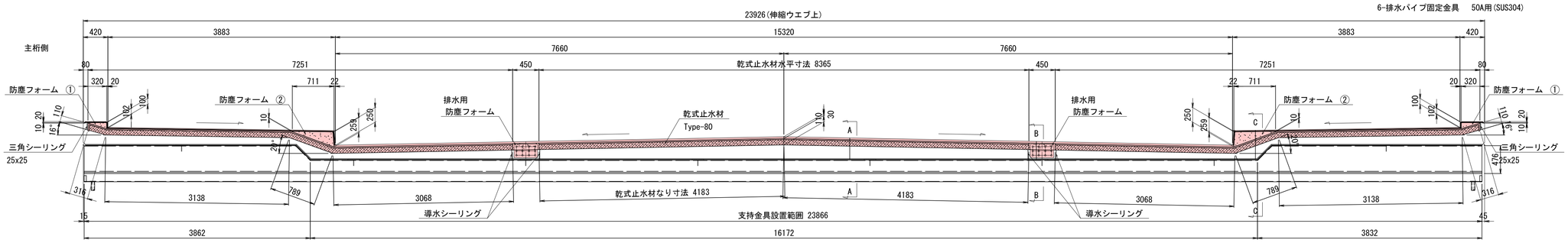
A1橋台　　S=1:40
S=1:80(A3)

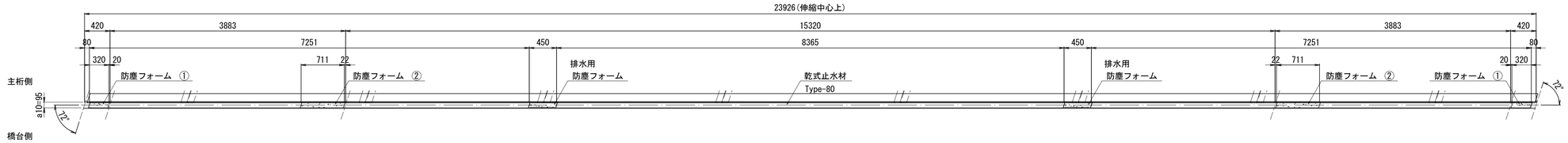
1-乾式止水材　Type-80×8396
2-乾式止水材　Type-80×7341

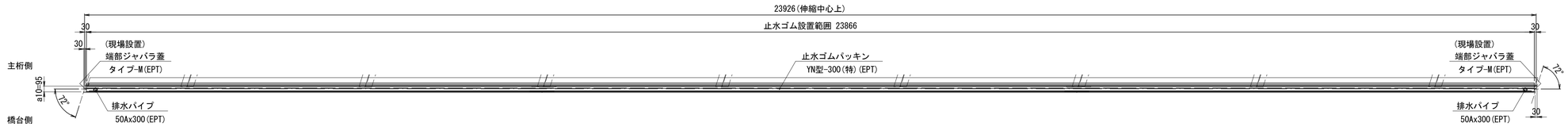
［排水用］ 2-防塵フォーム 105×110×480
① 2-防塵フォーム 105×102×350
② 2-防塵フォーム 105×259×741

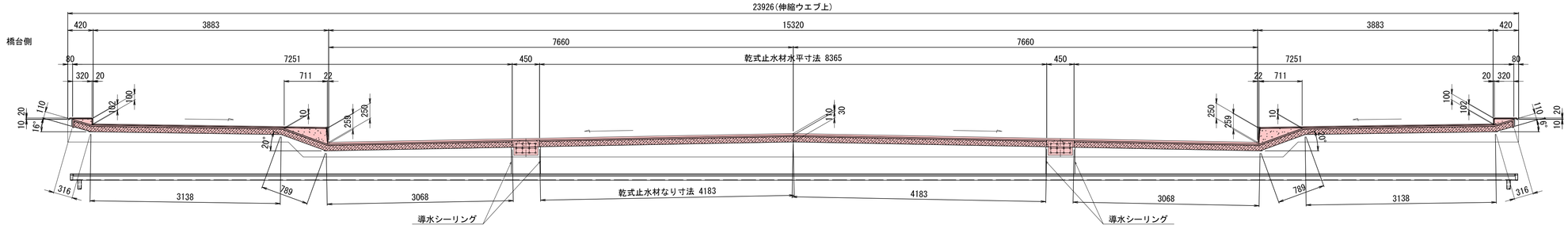
1-漏水防止材 50×10×23866
支持金具設置延長 L=23866

1-止水ゴムパッキン YN型-300(特)×23866(EPT)
2-端部ジャバラ蓋 タイプ-M(EPT)
2-排水パイプ 50A× 300(EPT) ［止水ゴム付］
2-排水パイプ 50A×3000(PVC)［導水用］
2-排水パイプカフス　50A用(EPDM)
2-排水パイプ継手管　50A用(SUS304)
4-排水パイプ継手バンド 50A用(SUS304)
6-排水パイプ固定金具 50A用(SUS304)



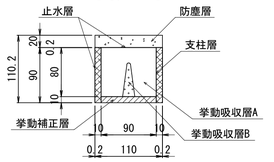




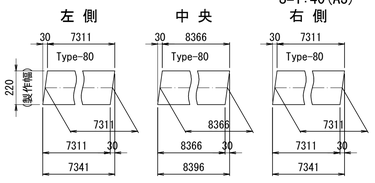


乾式止水材詳細図　S=1:5　S=1:10(A3)

［Type-80］

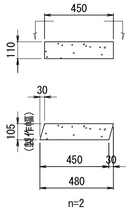


乾式止水材端部詳細図　S=1:20　S=1:40(A3)



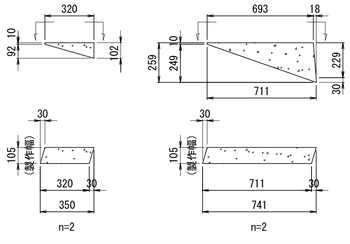
排水用防塵フォーム詳細図　S=1:20　S=1:40(A3)

（ポリウレタンフォーム）
［製作幅=最大遊間+10=105］



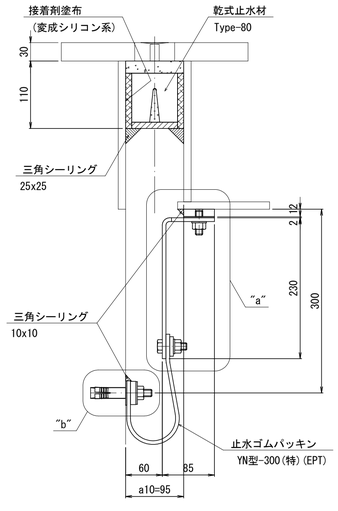
防塵フォーム詳細図　S=1:20　S=1:40(A3)

（ポリウレタンフォーム）
［製作幅=最大遊間+10=105］



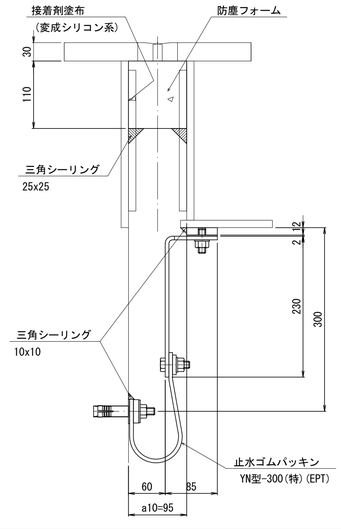
A － A　S=1:5　S=1:10(A3)

車道部



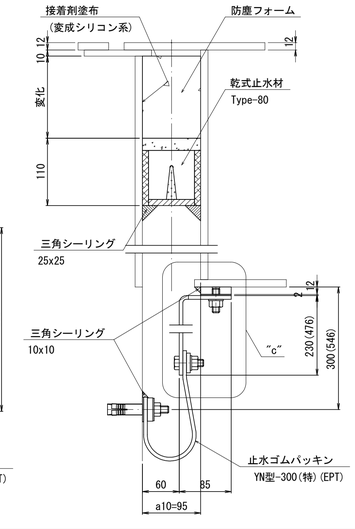
B － B　S=1:5　S=1:10(A3)

車道部(排水部)

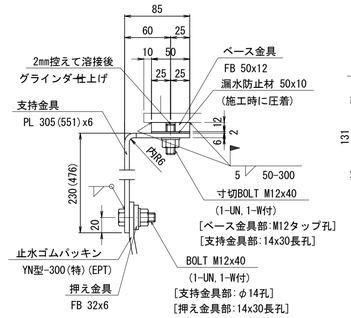


C － C　S=1:5　S=1:10(A3)

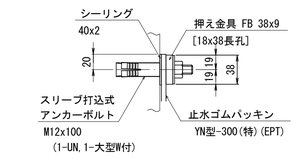
歩道部



"a(c)"部詳細図　S=1:4　S=1:8(A3)

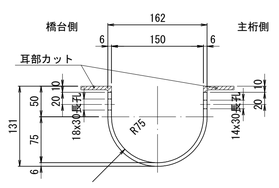


"b"部詳細図　S=1:4　S=1:8(A3)



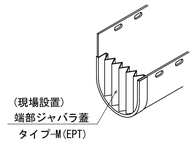
止水ゴムパッキン詳細図　S=1:5　S=1:10(A3)

［YN型-300(特)］



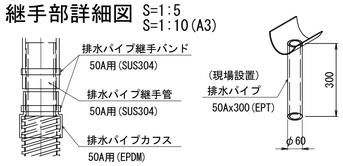
端部ジャバラ蓋詳細図

止水ゴム両端部に設置



排水パイプ継手部詳細図　S=1:5　S=1:10(A3)

排水パイプ詳細図



注記）

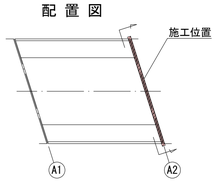
1. 特記なき鋼材の材質は全てSS400とする。
2. ベース金具以外の鋼材は溶融亜鉛メッキ処理を施す。膜厚はJIS H 8641 HDZT77とする。ただしボルト類はHDZT49とする。
3. ベース金具は現場溶接であるので熱影響部の既設塗装の剥離を行って溶接し、溶接後はタッチアップ塗装(変性エポ1層塗り)を行うこと。
4. 金具に溶接されたボルトは工場出荷時にビニールパイプ等で養生すること。
5. 各種止水材を設置する際、伸縮装置本体の止水材接着面の下地処理を確実に行うこと。
6. 接着剤(t=3)に接する両部材面及び各種シーリング(変成シリコン系)に接する部材面にはそれらの施工の前にプライマー(0.1kg/m2)を塗布すること。
7. 止水ゴムパッキンの導水用排水パイプの流末処理方法は協議の上決定すること。
8. 施工及び部材製作に際しては現地調査を行い、本図面との照合を行うこと。

【特記事項】

1. 詳細寸法は現地検測のうえ決定すること。

令和 8 年度　橋梁補修(妙見橋)工事	
工事番号	承メンテ　第474号
路線河川名	国道103号
施行箇所	青森市大字妙見　地内
伸縮装置補修図（その２）	縮尺　図示
図面番号	19　葉中　12
東青県土整備事務所	
青　森　県	

配 置 図



標準ウエブ遊間	+10℃時	90㎜
最大ウエブ遊間	-20℃時	100㎜
最小ウエブ遊間	+40℃時	80㎜

伸縮装置補修図（その２）

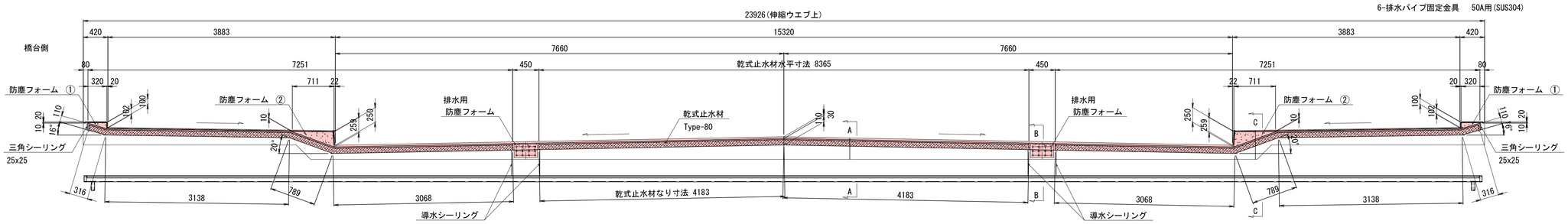
A2橋台　　S=1:40
S=1:80(A3)

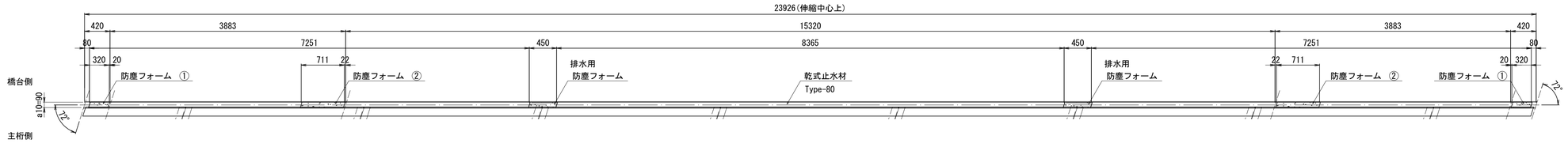
1-乾式止水材　Type-80×8395
2-乾式止水材　Type-80×7340

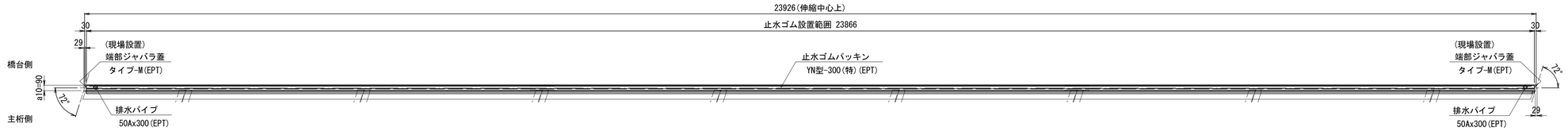
［排水用］ 2-防塵フォーム 110×110×479
① 2-防塵フォーム 110×102×349
② 2-防塵フォーム 110×259×740

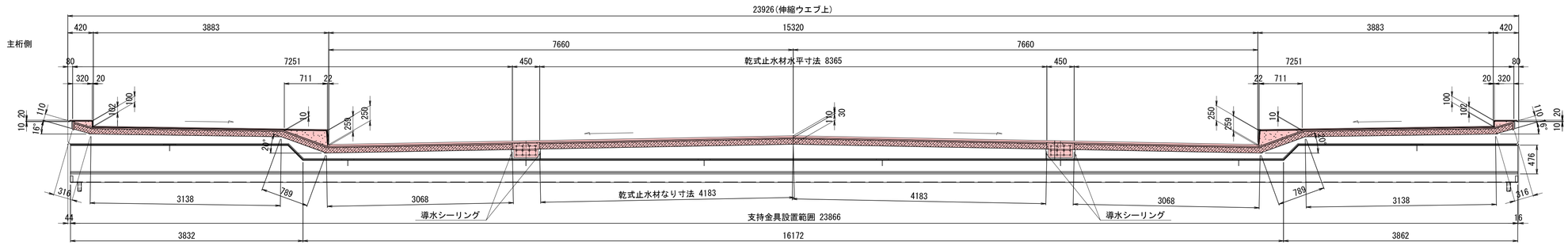
1-漏水防止材 50×10×23866
支持金具設置延長 L=23866

1-止水ゴムパッキン YN型-300(特)×23866(EPT)
2-端部ジャバラ蓋 タイプ-M(EPT)
2-排水パイプ 50A× 300(EPT) ［止水ゴム付］
2-排水パイプ 50A×3000(PVC)［導水用］
2-排水パイプカフス　50A用(EPDM)
2-排水パイプ継手管　50A用(SUS304)
4-排水パイプ継手バンド 50A用(SUS304)
6-排水パイプ固定金具　50A用(SUS304)



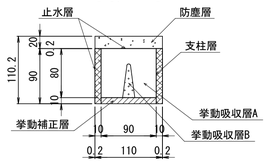




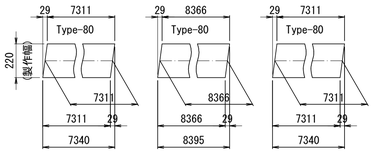


乾式止水材詳細図　S=1:5 S=1:10(A3)

［Type-80］

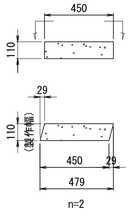


乾式止水材端部詳細図　S=1:20 S=1:40(A3)



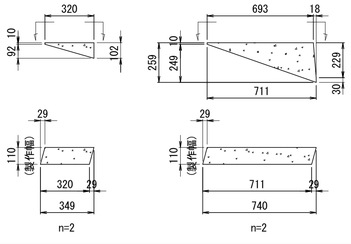
排水用防塵フォーム詳細図　S=1:20 S=1:40(A3)

（ポリウレタンフォーム）
［製作幅=最大遊間+10=105］



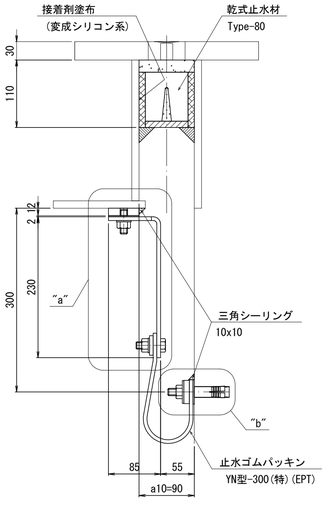
防塵フォーム詳細図　S=1:20 S=1:40(A3)

（ポリウレタンフォーム）
［製作幅=最大遊間+10=105］



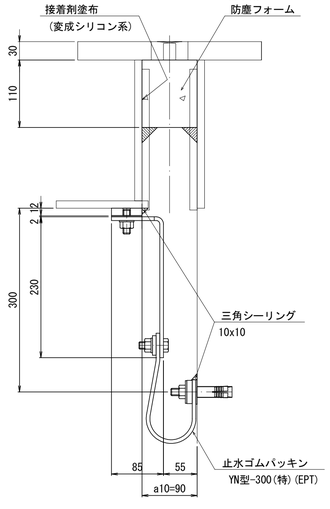
A － A　S=1:5 S=1:10(A3)　車道部

主桁側　橋台側



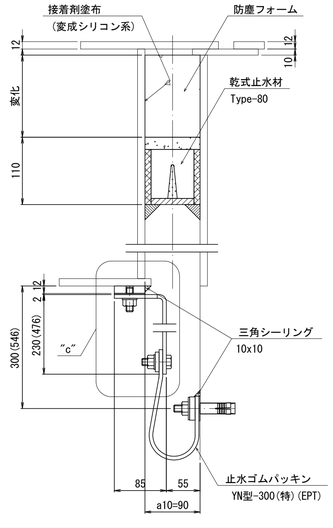
B － B　S=1:5 S=1:10(A3)　車道部(排水部)

主桁側　橋台側

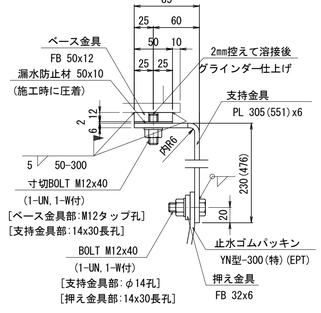


C － C　S=1:5 S=1:10(A3)　歩道部

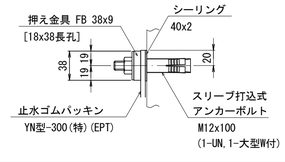
主桁側　橋台側



"a(c)"部詳細図　S=1:4 S=1:8(A3)

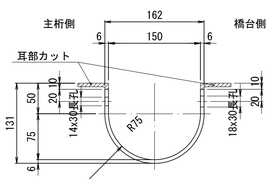


"b"部詳細図　S=1:4 S=1:8(A3)



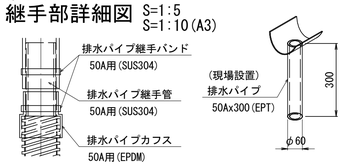
止水ゴムパッキン詳細図　S=1:5 S=1:10(A3)

［YN型-300(特)］



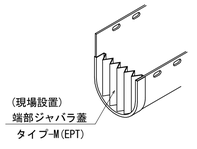
排水パイプ継手部詳細図　S=1:5 S=1:10(A3)

排水パイプ詳細図



端部ジャバラ蓋詳細図

止水ゴム両端部に設置



注記）

1. 特記なき鋼材の材質は全てSS400とする。
2. ベース金具以外の鋼材は溶融亜鉛メッキ処理を施す。膜厚はJIS H 8641 HDZT77とする。ただしボルト類はHDZT49とする。
3. ベース金具は現場溶接であるので熱影響部の既設塗装の剥離を行って溶接し、溶接後はタッチアップ塗装(変性エポ1層塗り)を行うこと。
4. 金具に溶接されたボルトは工場出荷時にビニールパイプ等で養生すること。
5. 各種止水材を設置する際、伸縮装置本体の止水材接着面の下地処理を確実に行うこと。
6. 接着剤(t=3)に接する両部材面及び各種シーリング(変成シリコン系)に接する部材面にはそれらの施工の前にプライマー(0.1kg/m2)を塗布すること。
7. 止水ゴムパッキンの導水用排水パイプの流末処理方法は協議の上決定すること。
8. 施工及び部材製作に際しては現地調査を行い、本図面との照合を行うこと。

【特記事項】

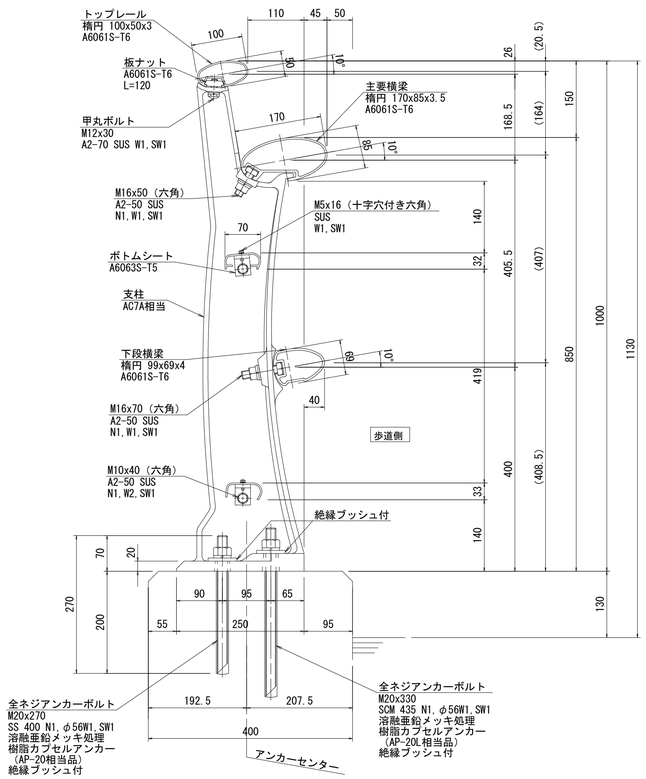
1. 詳細寸法は現地検測のうえ決定すること。

令和 8 年度　橋梁補修(妙見橋)工事	
工事番号	承メンテ　第474号
路線 河川　名	国道103号
施行 箇所	青森市大字妙見　地内
高欄補修図 （その１）	縮尺　1:6 1:12(A3)
図面番号	19　葉中　13
東青県土整備事務所	
青　森　県	

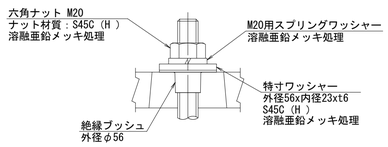
高欄補修図（その１）

高欄兼用車両防護柵取付詳細図

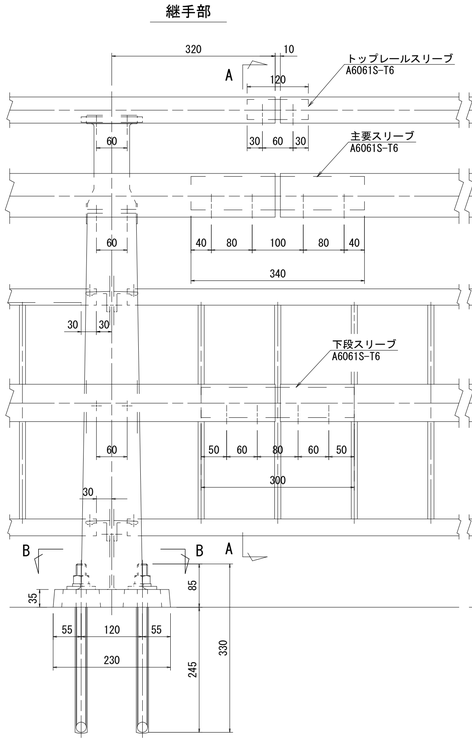
種別　B種



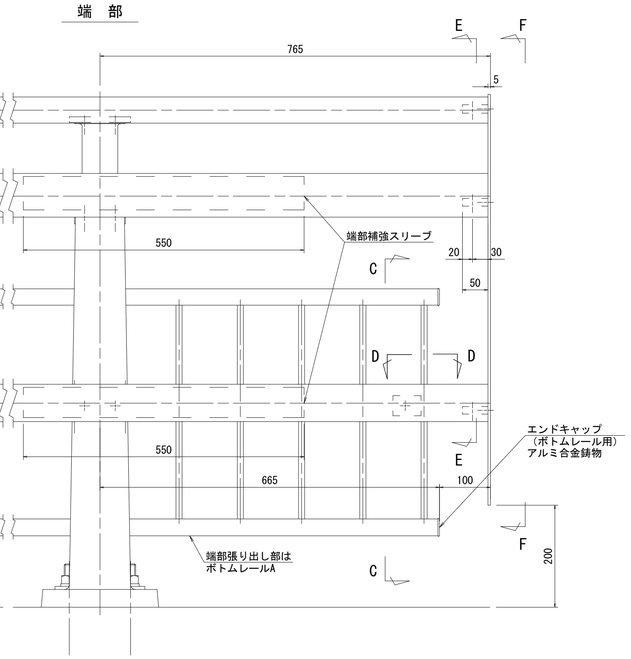
アンカーナット締め付け部



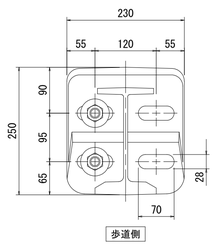
継手部



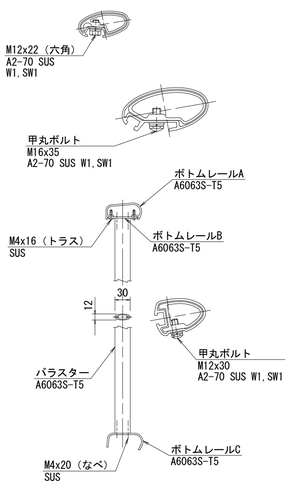
端　部



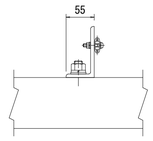
断面 B-B



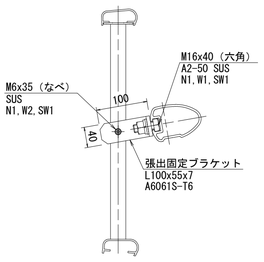
断面 A-A



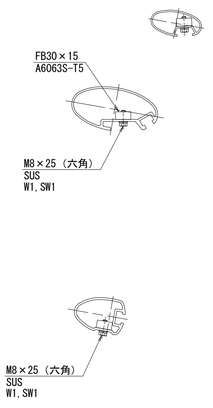
断面 D-D



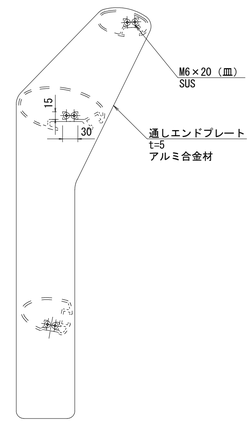
断面 C-C



断面 E-E



矢視 F-F



材　料　表

（12m当たり）

部番	名　称	寸　度	数 量	単　重	1本当	総重量	材　質	備　考
1	主要横梁	3990.0	3	4.925	19.65	59.0	A6061S-T6	170x85x3.5
2	下段横梁	3990.0	3	3.394	13.54	40.6	A6061S-T6	99x69x4
3	トップレール	3990.0	3	2.179	8.69	26.1	A6061S-T6	100x50x3
4	支柱		6		11.82	70.9	AC7A相当	
5	主要スリーブ	340.0	3	4.667	1.59	4.8	A6061S-T6	
6	下段スリーブ	300.0	3	3.195	0.96	2.9	A6061S-T6	
7	トップレールスリーブ	120.0	3	2.093	0.25	0.8	A6061S-T6	
8	ボトムレールA	1940.0	6	1.145	2.22	13.3	A6063S-T5	70x32
9	ボトムレールB	1880.0	6	0.461	0.87	5.2	A6063S-T5	57x3
10	ボトムレールC	1940.0	6	0.929	1.80	10.8	A6063S-T5	70x32
11	バラスター	421.0	72	0.369	0.16	11.5	A6063S-T5	30x12
12	ボトムシート	30.0	24	1.171	0.04	1.0	A6063S-T5	L-47x40
13	板ナット	120.0	6	0.986	0.12	0.7	A6061S-T6	
14	甲丸ボルト	M16x35	12		0.11	1.3	A2-70 SUS	W1,SW1
15	〃	M12x30	24		0.05	1.2	A2-70 SUS	W1,SW1
16	六角ボルト	M16x50	12		0.17	2.0	A2-50 SUS	N1,W1,SW1
17	〃	M16x70	12		0.20	2.4	A2-50 SUS	N1,W1,SW1
18	〃	M12x22	6		0.05	0.3	A2-70 SUS	W1,SW1
19	〃	M10x40	12		0.06	0.7	A2-50 SUS	N1,W2,SW1
20	十字穴付き六角ボルト	M5x16	24		0.004	0.1	SUS	W1,SW1
21	なべタッピンネジ（2種）	M4x20	288		0.002	0.6	SUS	
22	トラスタッピンネジ	M4x16	48		0.002	0.1	SUS	
23	全ネジアンカーボルト	M20x330	12		0.87	10.4	SCM435	N1,φ56W1,SW1, 絶縁ブッシュ1
24	〃	M20x270	12		0.75	9.0	SS400	N1,φ56W1,SW1, 絶縁ブッシュ1
25	樹脂カプセルアンカー	AP-20相当品	12		－	－		
26	樹脂カプセルアンカー	AP-20L相当品	12		－	－		
					総重量	275.7	kg/12m	
					m当り	23.0	kg/m（端部は除く）	

注記

1. 表面仕様
   主要横梁、下段横梁、主要スリーブ、下段スリーブ他、形材部品はアルマイト処理とし、支柱は塗装処理、ボルト（アンカーを除く）はステンカラー、シルバー及びダークグレー色の時を除き着色処理とし、色調は別途打合せとする。
2. 本防護柵の設計・製作仕様は、（社）日本アルミニウム協会　土木製品開発委員会作成「アルミニウム合金製橋梁用防護柵設計要領」（平成30年6月）、「アルミニウム合金製橋梁用防護柵製作・施工要領」（平成27年3月）による。
3. 本防護柵の支柱は、レベル用を示し、0～2.5%勾配に使用とする。
4. ボルト・ビス類のSUS材は、塩害対策処理とする。
5. 絶縁ブッシュの色調は黒色とする。

コンクリート強度　σck=21N/mm2　以上

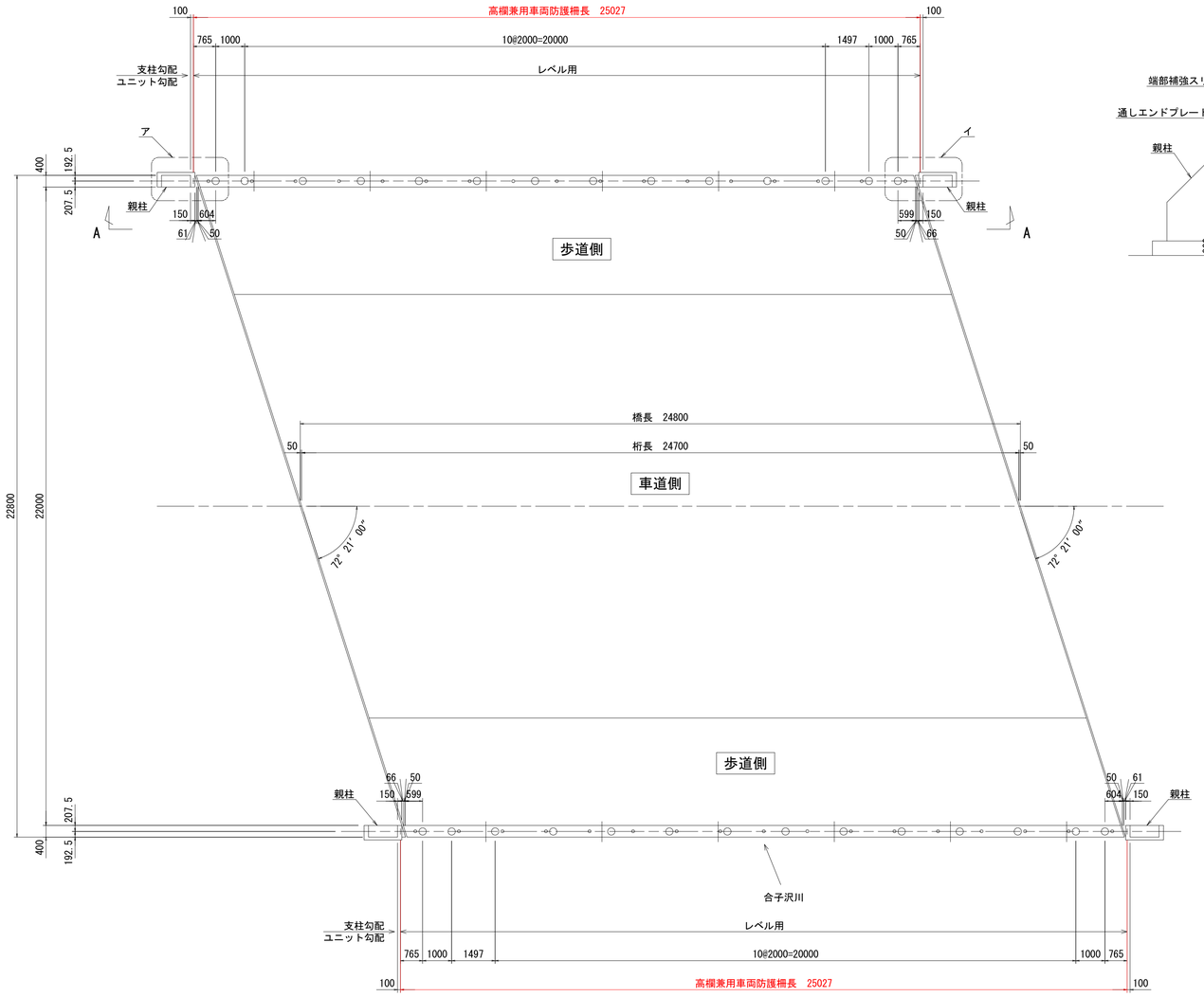
【特記事項】
1. 詳細寸法は現地検測のうえ決定すること。

令和 8 年度　橋梁補修(妙見橋)工事	
工事番号	承メンテ　第474号
路線 河川　名	国道103号
施行 箇所	青森市大字妙見　　地内
高欄補修図 （その２）	縮尺　　図示
図面番号	19　　葉中　　14
東青県土整備事務所	
青　森　県	

高欄補修図（その２）

平　面　図

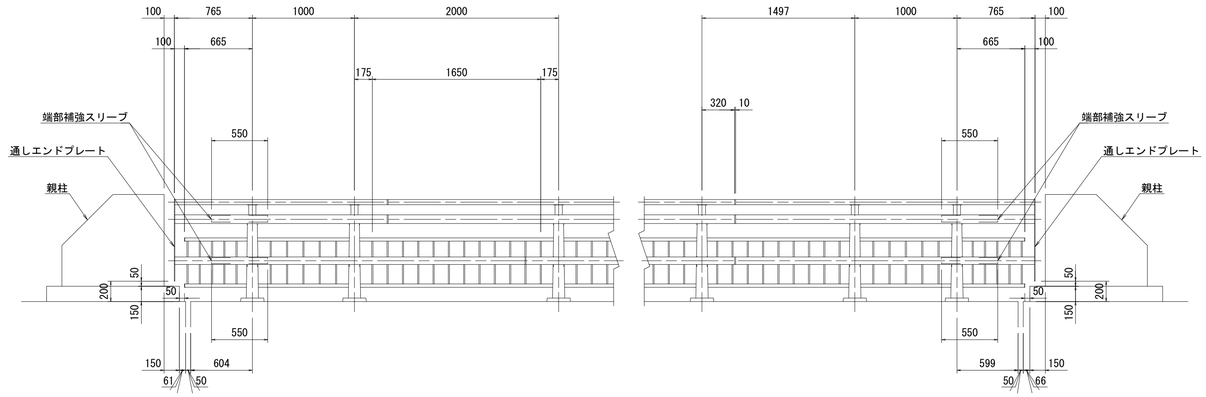
S=1:100
S=1:200(A3)



姿　図

S=1:30
S=1:60(A3)

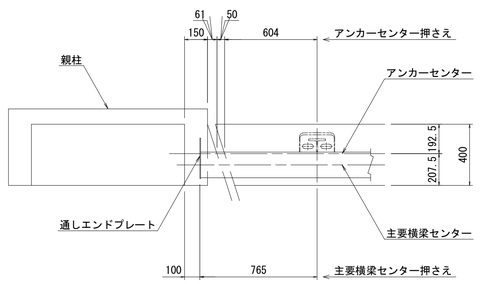
A-A



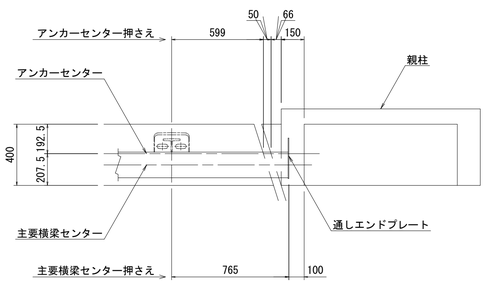
平面詳細図

S=1:20
S=1:40(A3)

ア部



イ部



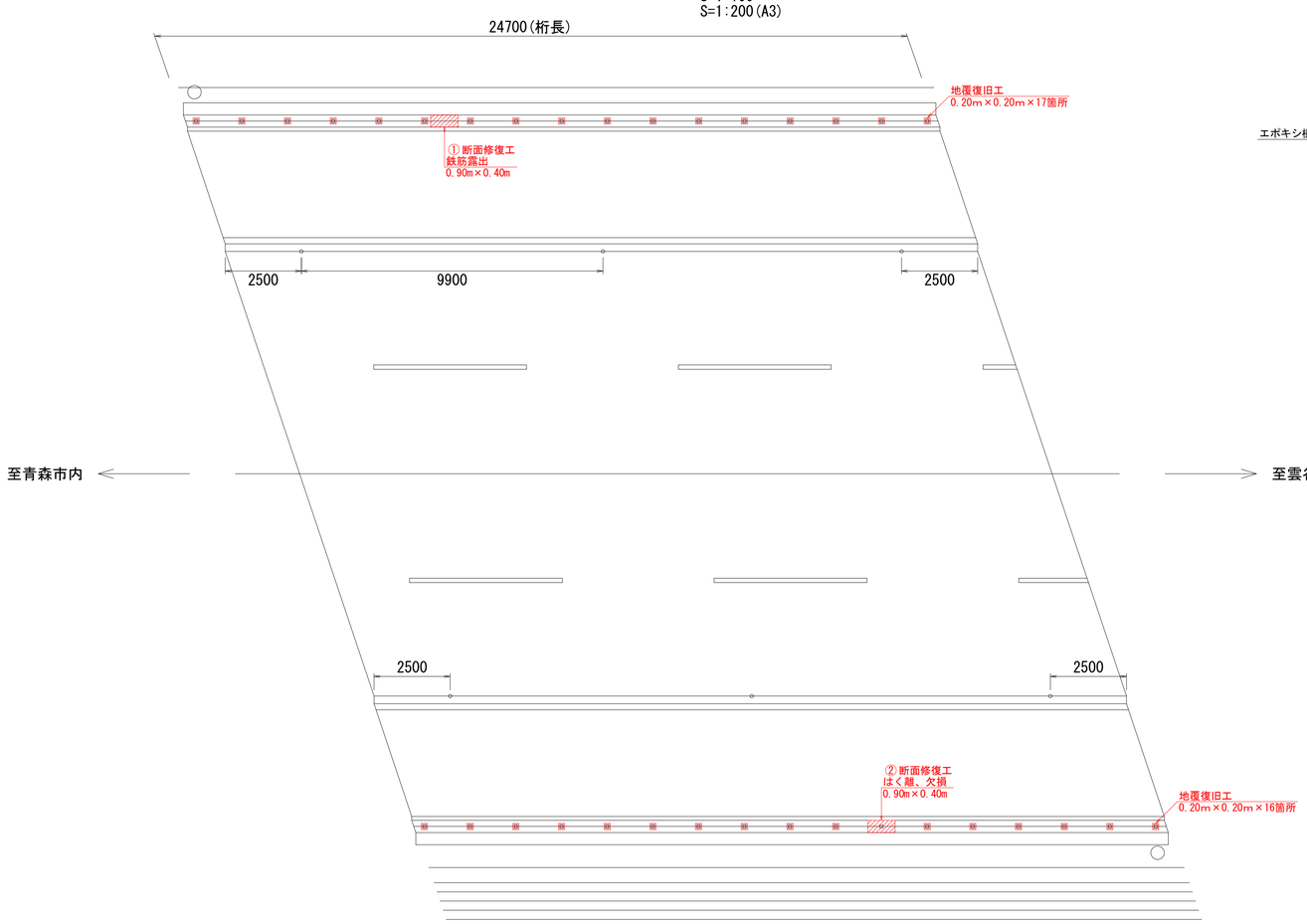
【特記事項】
1. 詳細寸法は現地検測のうえ決定すること。

令和 8 年度　橋梁補修(妙見橋)工事			
工事番号	承メンテ　第474号		
路線河川名	国道103号		
施行箇所	青森市大字妙見　　地内		
地覆補修図	縮尺	図示	
図面番号	19	葉中	15
東青県土整備事務所			
青　森　県			

地覆補修図

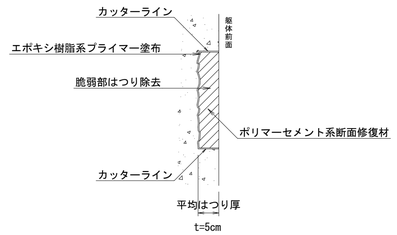
平　面　図

S=1:100
S=1:200(A3)



断面修復工詳細図

左官工法



※はつり厚は最小かぶり3cm（道路橋示方書III P.71）に2cmを加えた5cmとする。

断面修復工（左官工法）（ポリマーセメントモルタル）

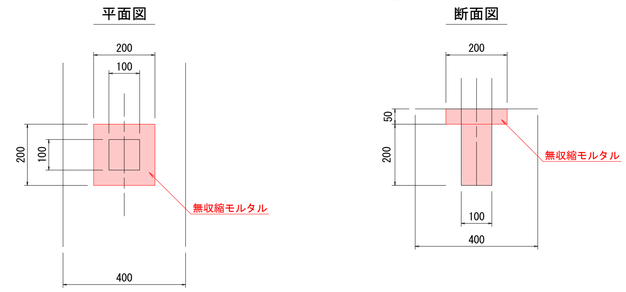
	寸　法	数量（m2）
地覆①	0.90m×0.40m	0.36
地覆②	0.90m×0.40m	0.36
	合　計	0.72

地覆復旧工（無収縮モルタル）

	寸　法	数量（m2）
下流側	0.20m×0.20m×17箇所	0.68
上流側	0.20m×0.20m×16箇所	0.64
	合　計	1.32

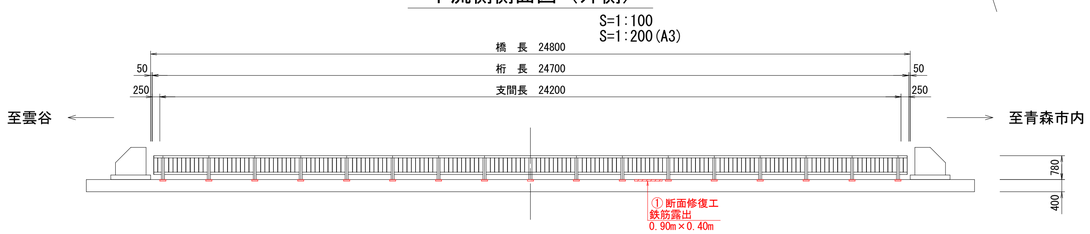
地覆復旧工詳細図

S=1:10
S=1:20(A3)



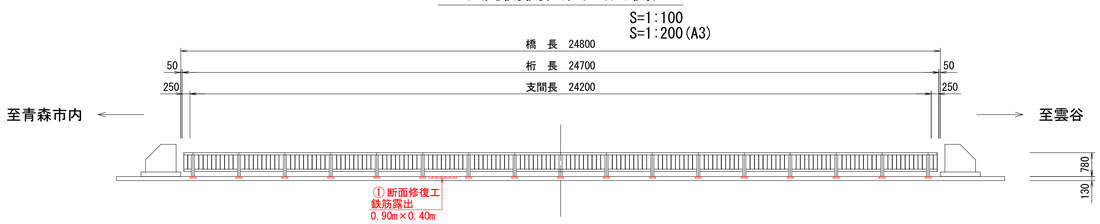
下流側側面図（外側）

S=1:100
S=1:200(A3)



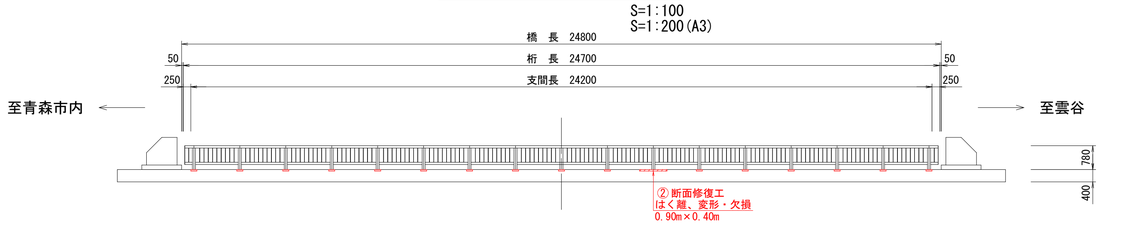
下流側側面図（内側）

S=1:100
S=1:200(A3)



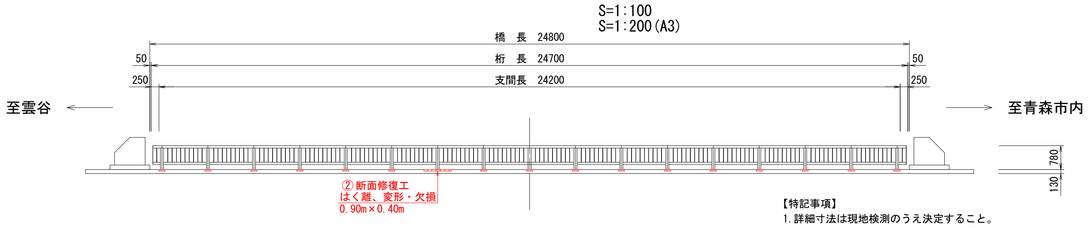
上流側側面図（外側）

S=1:100
S=1:200(A3)



上流側側面図（内側）

S=1:100
S=1:200(A3)



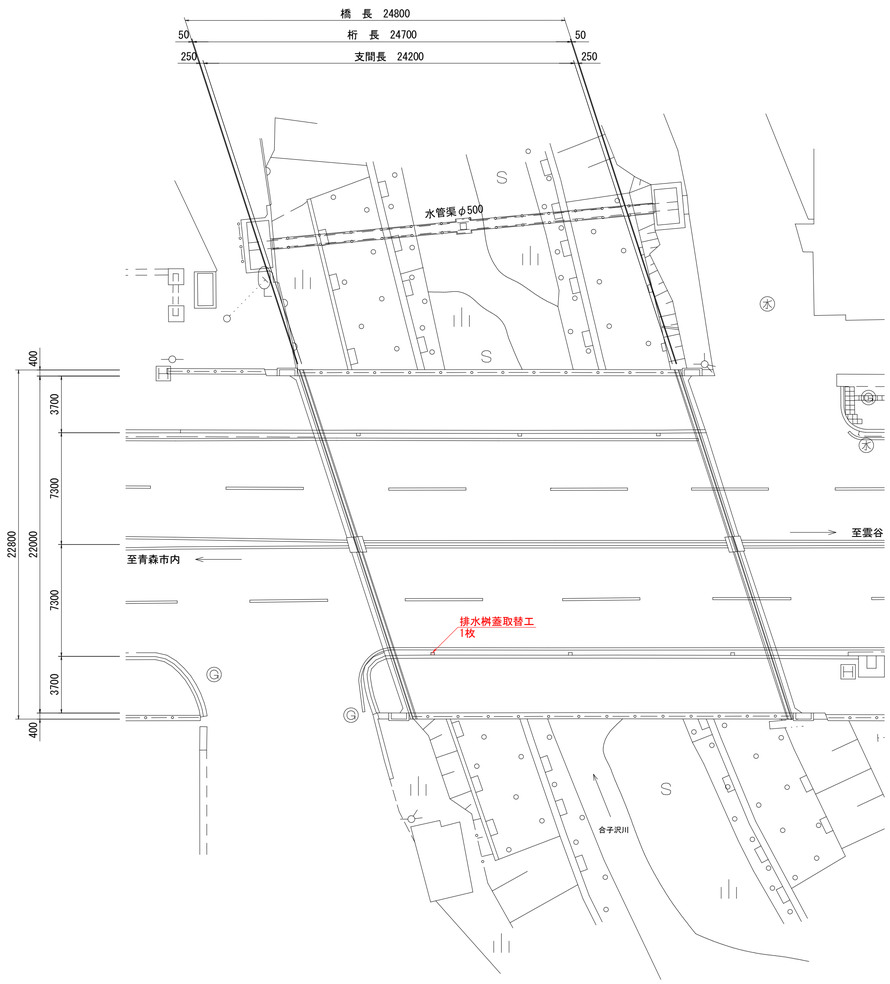
【特記事項】
1. 詳細寸法は現地検測のうえ決定すること。

令和 8 年度　橋梁補修(妙見橋)工事		
工事番号	承メンテ　第474号	
路線 河川　名	国道103号	
施行 箇所	青森市大字妙見　　地内	
排水桝補修図	縮尺　　図示	
図面番号	19　　葉中　　16	
東青県土整備事務所		
青　森　県		

排水桝補修図

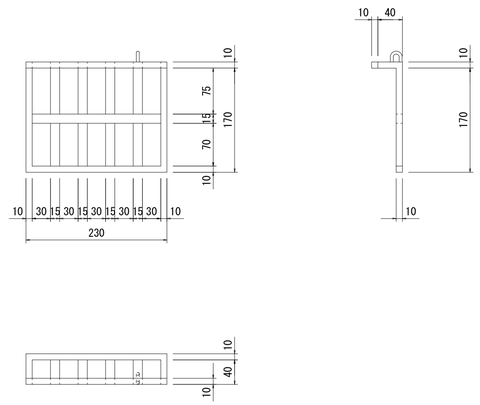
平　面　図

S=1:200
S=1:400(A3)



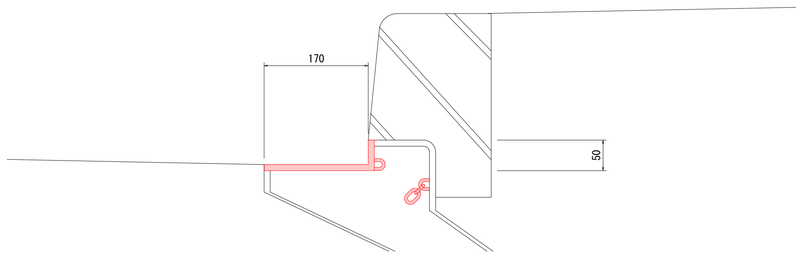
排水桝蓋詳細図

S=1:5
S=1:10(A3)



排水桝断面図

S=1:5
S=1:10(A3)



排水桝蓋取替工

	仕様・規格	数量（枚）
排水桝蓋	SUS　チェーン・溶接含む	1
	合　計	1

【特記事項】
1. 詳細寸法は現地検測のうえ決定すること。

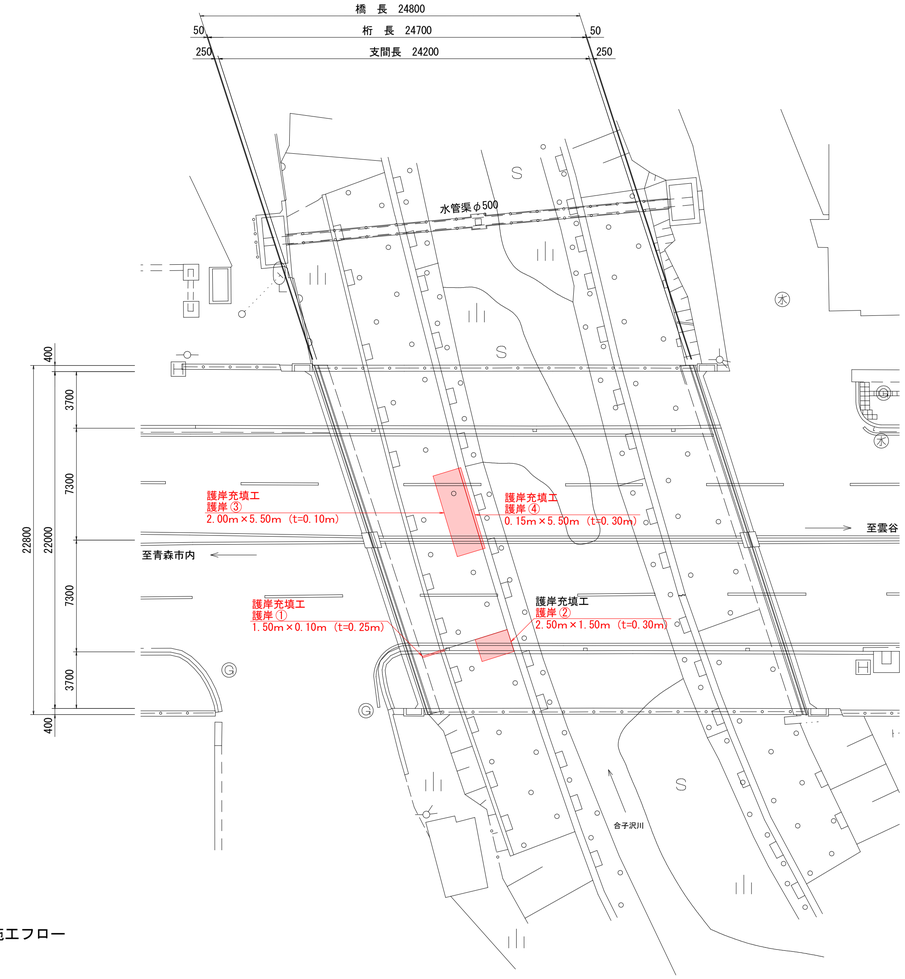
令和 8 年度　橋梁補修(妙見橋)工事	
工事番号	承メンテ　第474号
路線河川名	国道103号
施行箇所	青森市大字妙見　　地内
護岸補修図	縮尺　　図示
図面番号	19　　葉中　　17
東青県土整備事務所	
青　森　県	

17/19

護岸補修図

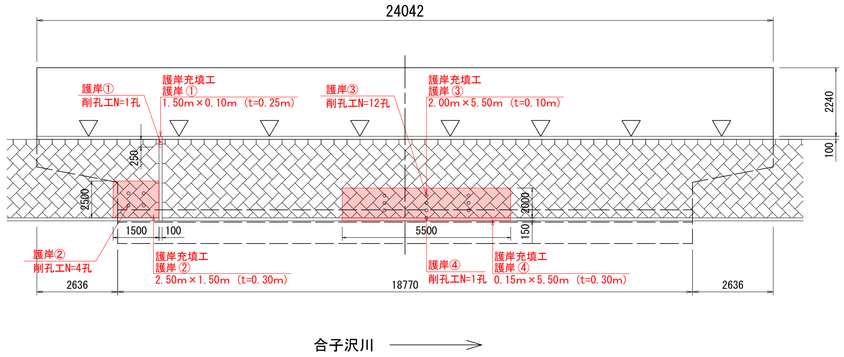
平　面　図

S=1:200



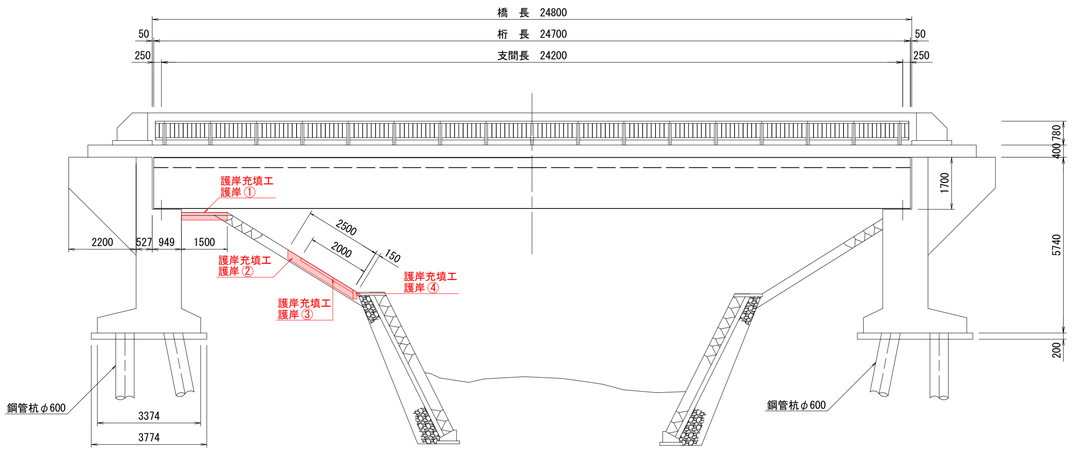
A1側正面図

S=1:100



側　面　図

S=1:100



護岸充填工施工フロー

現　地　調　査	施工前に現地検測を行い、詳細寸法及び数量の確認をすること。
マーキング	注入孔位置にマーキングする。
削　孔　工	注入孔をあける。
管　設　置　工	注入孔に注入プレートと注入管を設置する。
注　入　工	発泡ウレタンを空洞に注入する。
目　詰　工	注入プレートにプレートプラグを留める。
後　片　付　け	

護岸充填工

	算　　式	数量（m3）
護岸①	1.50m×0.10m×0.25m	0.038
護岸②	2.50m×1.50m×0.30m	1.125
護岸③	2.00m×5.50m×0.10m	1.100
護岸④	0.15m×5.50m×0.30m	0.248
	合　計	2.511

削孔工、管設置工、目詰工

	算　　式	数量
護岸①	1孔	1孔
護岸②	4孔	4孔
護岸③	12孔	12孔
護岸④	1孔	1孔
	合　計	18孔

注入材

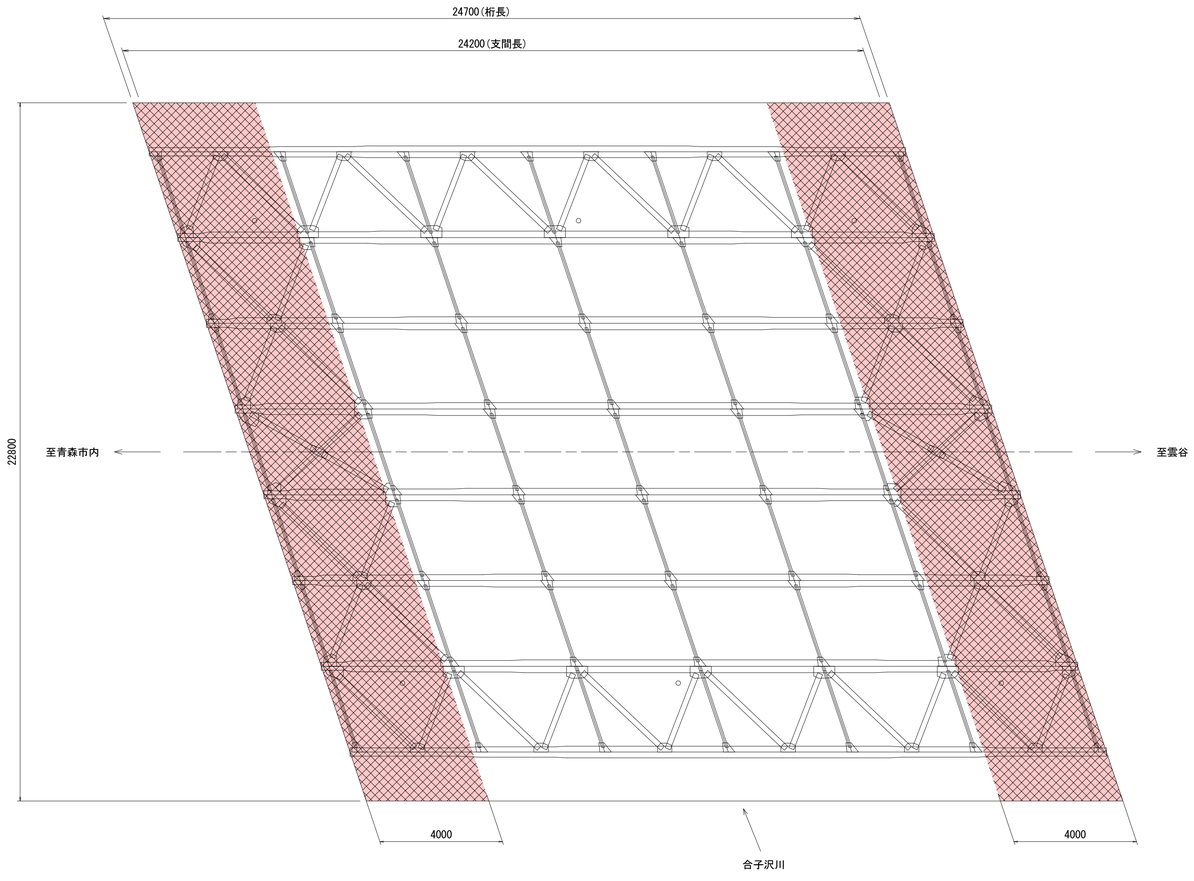
	算　　式	数量
注入材	2.52m3×30kg×1.2(ロス率20%)	91kg

【特記事項】
1. 詳細寸法は現地検測のうえ決定すること。

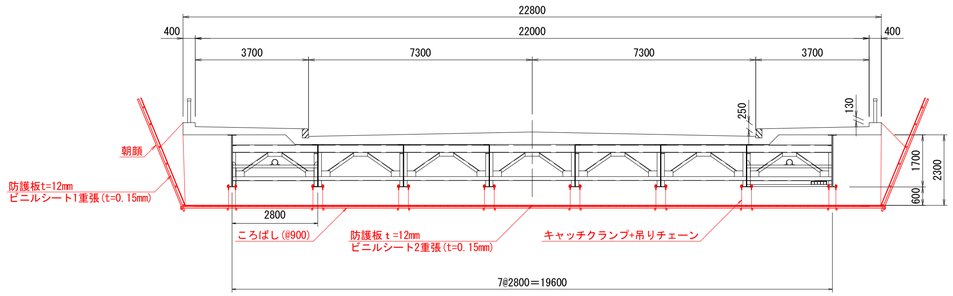
令和 8 年度　橋梁補修(妙見橋)工事	
工事番号	承メンテ　第474号
路線 河川　名	国道103号
施行 箇所	青森市大字妙見　　地内
仮設工参考図	縮尺　1:100 1:200(A3)
図面番号	19　葉中　18
東青県土整備事務所	
青　森　県	

仮設工参考図

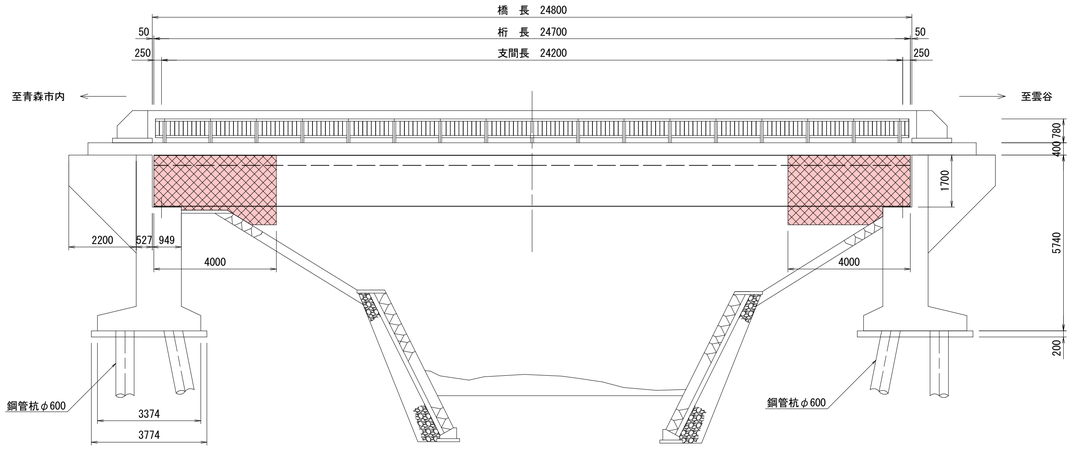
平　面　図



断　面　図



側　面　図



【特記事項】
1. 詳細寸法は現地検測のうえ決定すること。

令和 8 年度　橋梁補修(妙見橋)工事			
工事番号	承メンテ　第474号		
路線河川名	国道103号		
施行箇所	青森市大字妙見　地内		
撤去工図	縮尺	図示	
図面番号	19	葉中	19
東青県土整備事務所			
青　森　県			

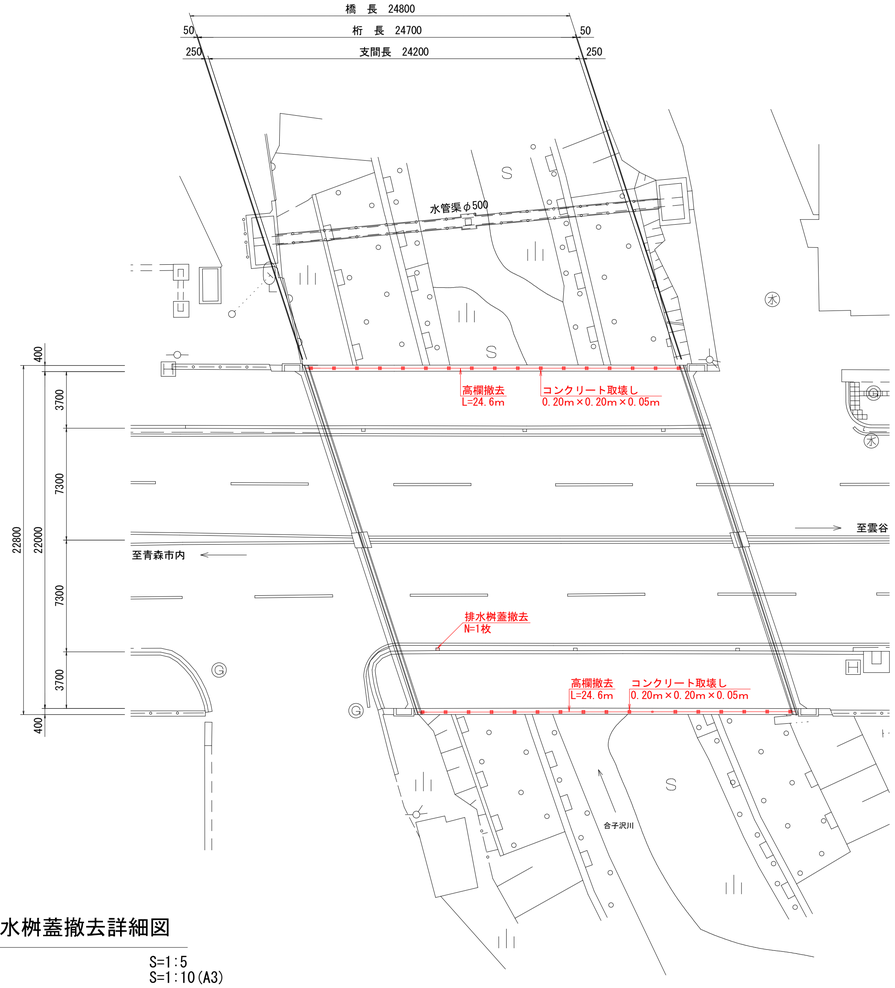
撤去工図

撤去工数量表

名　称	仕様・規格	単位	数　量
ガセットプレート撤去	t=9mm、W=7.85t/m3（参考重量）	m2	0.05
高欄撤去	W=36.0kg/m（参考重量）	m	49.20
コンクリート取壊し	(0.2m×0.2m-0.1m×0.1m)×0.05m×33箇所	m3	0.05
沓座モルタル撤去	0.166m2(CAD計測)×0.080m×6箇所	m3	0.08
排水桝蓋撤去	W=7.85t/m3（参考重量）	枚	1.00

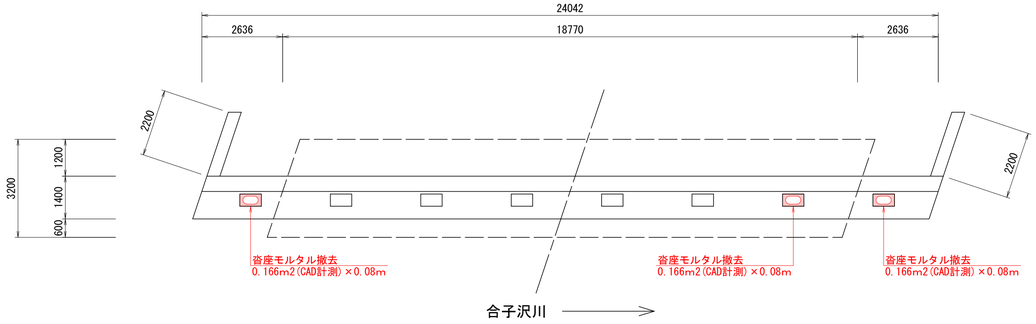
平　面　図

S=1:200
S=1:400(A3)



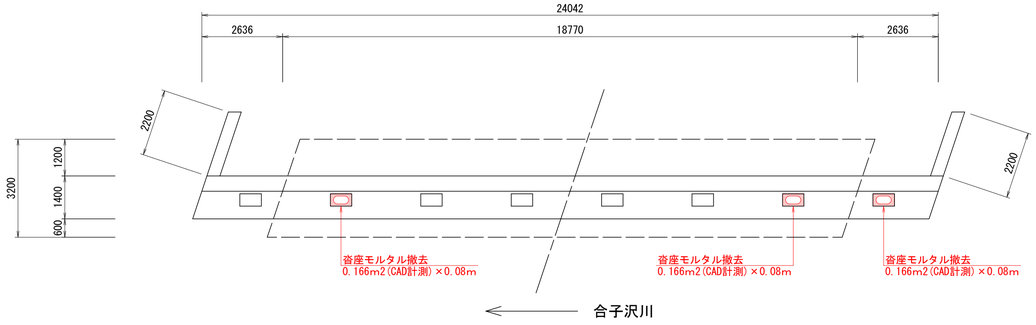
A1橋台平面図

S=1:100
S=1:200(A3)



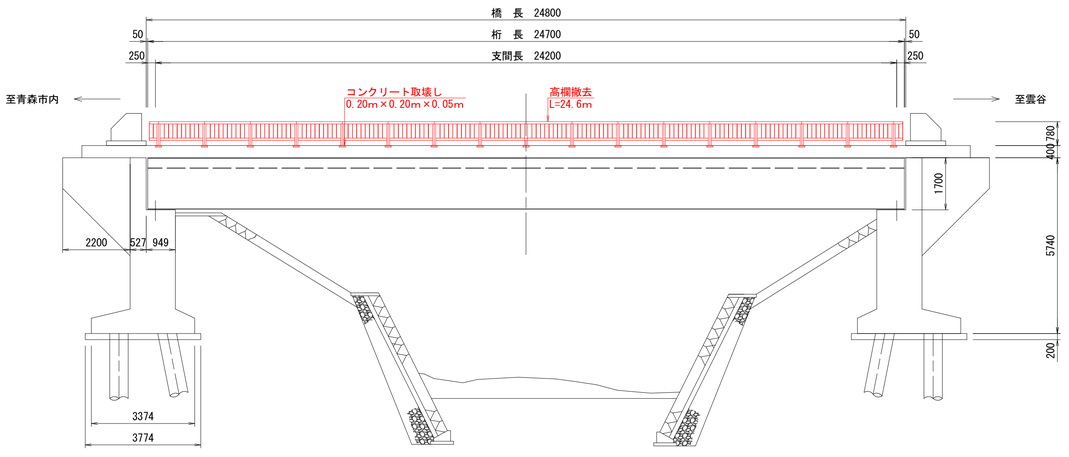
A2橋台平面図

S=1:100
S=1:200(A3)



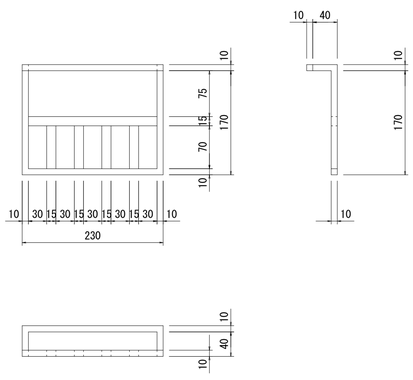
側　面　図

S=1:100
S=1:200(A3)



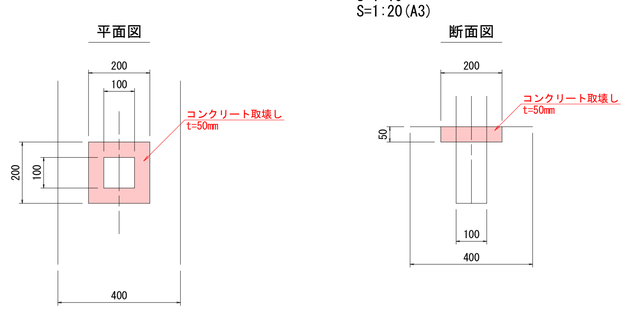
既設排水桝蓋撤去詳細図

S=1:5
S=1:10(A3)



既設高欄撤去詳細図

S=1:10
S=1:20(A3)



【特記事項】
1. 詳細寸法は現地検測のうえ決定すること。